



学校法人 金沢文化学園  
専門学校 金沢文化服装学院

Kanazawa Bunka Fashion College School guide 2019

# Kanazawa Bunka Fashion College



School guide 2019

# 好きを実力に

好きなことなら、  
誰にも負けないくらい  
頑張れる。

夢を掴むために、  
ファッションと向き合い  
強い意志を持って  
努力を重ねる。

ここからスタートしよう

その覚悟を持ったあなたに  
舞台は用意されています

金沢文化服装学院は、  
想像を表現するための  
知識と技術を学ぶ  
専門学校です。

*IF YOU  
LIKE IT,  
YOU CAN  
MAKE IT!!*



## contents

- 01 学校紹介
- 07 ファッションの仕事
- 09 学科紹介
  - アパレル造形デザイン科 [3年制]
  - アパレル基礎科 [2年制]
  - ファッションビジネス科
  - ファッションクリエイティブ専攻科
- 33 キャンパスライフ
- 43 学院長・教員紹介
- 45 進路
- 49 金沢で学べるという価値
- 51 講師メッセージ
- 61 卒業生メッセージ
- 68 アクセス

# EDUCATIONAL POLICY

## 社会・企業から歓迎される人財

本校で学ぶ知識や技術を自分の強みに変え、

まわりの人々と協調しながら

自発的に行動し、

社会やお客様に貢献することで、

結果として自分の目標を達成できる人財。

私たちはみなさんには

こんな人財になって欲しいと強く願っています。

本校での学生生活は多くの驚きや感動、

様々なヒト・モノ・コトとの素敵な出会いの連続です。

そんな学生生活を思い切り楽しみながら、

どんな時代でも、どんな環境下でも、

力強く、前向きに生き抜いていける業や精神力を身に付け、

「好き」を“実力”にして、夢を現実にしましょう!!



## 創立 63 年の伝統と実績

1955年に創立した本校は、時代の変化に合わせて、カリキュラム内容の充実をはかり、ファッション業界にたくさんの優れた人財を送り出してきました。これまで培ってきた伝統と実績による豊富なカリキュラムや就職実績などは、ファッション業界から高い信頼を得ています。

## 講師はすべて現場経験者

本校の講師はそれぞれの業界での現場経験を3年以上積んでいるプロばかりです。ですから業界直結の講義演習が可能なのです。そうしたプロでしか知り得ない業界の楽しさ・厳しさといった、現場での経験を学生に伝えることが次世代のファッション業界を支える人財育成の第一歩と考えています。

## 学生の心に火を点す

少人数のクラス編成で、各クラスにはマネジャー（担任）がつきます。各クラスマネジャーは毎日、学生情報を共有しているため、担当クラス以外の学生のことも理解しています。スタッフ全体で、一人の学生を見ていくようなイメージです。



## SWOT TIME（努力の時間）制度

「もっとここが知りたい!」「まだここが理解できない!」といった学生に、講師がマンツーマンで対応（要予約）してくれる「SWOT TIME（努力の時間）制度」を採用しています。



LOCATION

世界有数の繊維生産地、北陸で学ぶ。

世界が注目する  
繊維大国北陸

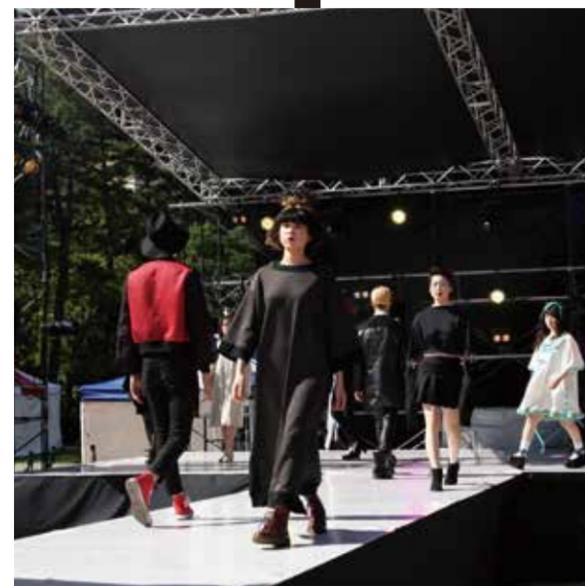
武家文化が根付いた  
文化都市

北陸新幹線  
開業に伴う発展

古くから繊維産業が盛んな北陸地域には、  
世界のトップブランドからも多くの注文を受ける、  
高い技術を持つ企業が集まっています。  
本校が立地する金沢では  
世界に誇る金箔や漆などの伝統工芸をはじめ、  
金沢で独自の発展を遂げた加賀友禅も現代に根付いています。  
本校はそのような多くの企業と連携して、  
世界最先端の技術や北陸独自の文化を体験できる  
課外授業や産地見学を頻繁に行い、  
学生に地元産業の素晴らしさを伝えています。

地域社会や企業との連携

本校では毎年、行政や地域団体、企業と連携し  
まちなかや駅周辺でのファッションショー、物販イベントなど  
ファッションを通し金沢の知名度アップ  
そして更なる地域活性化や地産地消の促進を目指す活動をしています。



# THINK ABOUT FASHION

## ファッションの仕事

ファッション業界の仕事は大きく3つの分野に分かれます。

それぞれが関わり合い、それぞれの仕事を支えています。

“ファッションをつくる人”は

現場の声を聞き、よりお客様のニーズに合わせたモノづくりをしなければなりません。

“ファッションを売る人”は

その商品の素材・機能性などを含めた作り手の思いをお客様にしっかり伝える必要があります。

また、“ファッションの魅力を伝える人”は

作品を最大限に表現できる服を選ぶこと、

そしてその服が一番ステキに見えるように工夫すること。

そのためには服飾に関する専門知識や技術だけでなく、感性を磨くことも大切になってきます。

様々な職種に目を向け、学び、自分が進みたい道と一緒に見つけましょう。



## CREATE

ファッションをつくる人

### クリエイティブディレクター (CD)

ファッションデザインをメインに広告やショップ展開など、ブランドのイメージ戦略全般を手がけるクリエイターのこと。ブランド全体のトータルなディレクションを行う。

### マーチャンダイザー (MD)

ファッションを商品という視点から、トレンドや世の中の動きに合わせて、「売れるもの」を予測し、それに沿った商品を創り出す仕事。調査→商品企画→試作→生産というのが一般的な仕事の流れ。

### ファッションデザイナー/企画

ブランドのデザイン全てを統括する人もいれば、ディレクターの指示でデザインする人など、立場によって仕事の内容は様々。大手アパレル企業ではマーチャンダイザーの市場調査に基づいて、トレンドと売れ筋を計算した服をデザインすることが多い。

### パタンナー

平面のデザインをもとに、服を立体にするための型紙(パターン)をつくる。服づくりのプロセスにおいて、デザインと同等の重要な仕事。

### CAD/ グレーダー

サイズに合わせた商品をつくるため、パターンを大小の大きさにアレンジしていく。服づくりに関する知識、技術だけでなく、アパレルCADなどのソフトウェアを使いこなせるノウハウも必要。

### 生産管理

販売計画に基づき、人や設備などから生産能力を計算して、商品の製造までの一連の流れを管理する仕事。工場とのやりとりが多く、生地、パターン、縫製などの幅広い知識が求められる。また現在は、商品を海外生産に頼る企業も多く、語学力があると有利。

### テーラー

オーダーメイドでテーラードジャケットやスーツ、シャツを仕立てる高度な技術を持つ職人のクリエイター。

### グッズデザイナー/雑貨クリエイター

アトリエやショップなどに勤めて、ファッション小物の製作を行う。フリーランスとして自宅などで活躍する人も。

### コスチュームデザイナー

映画や舞台、テレビなどの衣装デザインにおいて、特に責任ある立場の人。

## SELL

ファッションを売る人

### ファッションアドバイザー

店頭で接客する販売員で、一般的にはファッションアドバイザーと呼ばれる。お客様の好みに合わせた商品選びや、トータルコーディネート提案できることが重要になる。

### バイヤー

主にセレクトショップや百貨店に所属して、さまざまな商品を買って販売する。世の中のニーズを把握し、売れる商品を入れるのが役割。流行に敏感な感性や売れるものを見極める目、的確な計算能力や交渉力などさまざまな能力が必要とされる。

### ビジュアルマーチャンダイザー

店頭ディスプレイを中心に、服の並べ方などショップをビジュアル面でサポートする。ビジュアルコーディネーターとも呼ばれる。

### 営業 / セールス

ビジネス面の全てに関わる仕事。ショップのバイヤーと商談したり、新たな卸し先を開拓する。取引先や顧客が求めるアイテムをクリエイティブ部門のスタッフに伝え、商品企画に反映させる役割も担う。

## APPEAL

魅力を伝える人

### スタイリスト

雑誌、広告、映画など、クライアントから提示されたテーマやコンセプトに合った服を選び、ビジュアルをつくる。多くのスタイリストはタレント、モデル、ミュージシャンなどが仕事のメインだが、個人をスタイリングするパーソナルスタイリストやショップスタイリストとして活躍する人もいる。

### プレス

ブランドの広報、宣伝を手がける。プレスとは本来、報道機関のジャーナリストや記者など、取材する側を指す言葉。正確には「プレス担当者」「プレス係」と呼ぶ。

### エディター

ファッション雑誌や本、Web など、誌面の企画とディレクションを行う。取材から原稿執筆など仕事内容が多岐に渡る。

### モデル

ファッションを生み出すデザイナーの希望に応じて理想の姿を表現する。近年はモデル自身が服をデザインするなど、仕事の幅が広がっている。

## GRADUATERS

卒業生の仕事を紹介!



### デザイナー

オリジナルブランド「ねむねむ」/  
デザイナー

西村 幸子  
石川県立金沢辰巳丘高等学校出身  
ファッションクリエイティブ専攻科 2014 年度卒業



### パタンナー

株式会社 クレイワークス (東京)  
/ パタンナー

新濃 利康  
石川県立金沢中央高等学校出身  
デザイン専攻科 2008 年度卒業



### バイヤー

株式会社 ラリー / 販売員、バイヤー

清水 早綾  
石川県立野々市明倫高等学校出身  
ファッションビジネス科 2010 年度卒業



### プレス

株式会社 ユナイテッドアローズ /  
ウィメンズプレスアシスタント

飛山 桃子  
富山県立富山北部高等学校出身  
ファッションビジネス科 2012 年度卒業



### 営業

株式会社 ティナアパレーション (東京)  
/ 営業部

森行 守  
石川県立金沢北陵高等学校出身  
アパレル造形デザイン科 2007 年度卒業



### 店長・販売員

株式会社 バル チャオパニック 名古屋店  
/ 店長

瀬川 愛  
金沢高等学校出身  
ファッションビジネス科 2007 年度卒業



### モデル

フリーランス (東京) / モデル

河内 駿  
石川県立津幡高等学校出身  
ファッションビジネス科 2012 年度卒業



### ショップオーナー

セレクトショップ「koko」/ 代表

山科 俊貴  
石川県立寺井高等学校出身  
ファッションビジネス科 2005 年度卒業

# COURSE

あなたの“好き”という武器は、  
知識や技術で磨きをかける必要がある。

本校にはファッション業界で活躍する人財を育成するための3つの学科と1つの専攻科があります。  
各々の分野で、あなたの“好き”という武器を磨き上げてください。

	1年次	2年次	3年次	専攻科	学科が目指す育成人材像	カリキュラム概要
服飾造形 〔昼／2年制・3年制〕	アパレル造形デザイン科〔3年制〕		デザイナーコース パタンナーコース	ファッション クリエイティブ 専攻科 〔1年制〕	発想力・創造力・表現力を発揮し、オリジナルに溢れる作品を生み出せるクリエイターの育成。	<b>1年次</b> スカート、シャツ、パンツ、ワンピースの基礎的な製図方法と工業用パターンの作成、縫製までを習得する。また、アパレル流通史や服装文化史を時系列で理解する。 <b>2年次</b> ジャケット、コート等の基礎的な製図方法と工業用パターンの作成、縫製までを習得する。また、平面製図と立体裁断の2つのアプローチ法で、オリジナルデザインのアイテム製作を行う。パターンメイキング技術検定2級 <sup>※1</sup> を取得する。 <b>3年次</b> 素材特性を最大限に活かすことを前提に、これまで習得した技術を応用してオリジナルアイテムやオートクチュールドレスの製作を行う。そうした製作活動をデザイナーコースはより独創性に、パタンナーコースはより構築性に重点を置いて行う。
	アパレル基礎科〔2年制〕				多様な素材に対応できる縫製技術と知識が身に付いており、一点物から量産品まで幅広いモノづくりに対応できる人材の育成。	<b>1年次</b> スカート、シャツ、パンツ、ワンピースの基礎的な製図方法と工業用パターンの作成、縫製までを習得する。また、アパレル流通史や服飾文化史を時系列で理解する。 <b>2年次</b> 様々な生地の縫製技術、刺繍などの様々な手仕事に関する技術を習得する。
					自身の作品や、クライアントの商品をより輝かせるためのイメージメイキングスキルやグラフィックススキルを持つクリエイターの育成。 演習や実際のクライアントワークを通して、イメージメイキングを実践的に行う過程の中で、そのニーズを満たすアートディレクションスキルやグラフィック処理技術等を習得する。	独自のファッション感覚を理論で裏付け出来る、リアル / バーチャルを含むショップオーナーやバイヤーなどの経営職 / 総合職の育成。  ショップに来店されるお客様やクライアントが求めるスタイルを感覚的、且つ理論的につくり上げることが出来る表現者 / イメージメーカーの育成。
流通ビジネス 〔昼／2年制〕	ファッションビジネス科		ショップマネジメントコース ショップスタイリストコース			

## 取得目標資格

本校で学んだ専門知識や専門技術の実力を評価する検定試験が各種あります。自分の目的・目標に合った検定を選び、チャレンジしましょう。

※4 リテールマーケティング検定 【日本商工会議所】	※5 F.S.A. Styling Map 検定 【日本ファッションスタイリスト協会】	※3 ファッション販売能力検定 【一般財団法人日本ファッション教育振興協会】	※2 カラーコーディネーター検定 【東京商工会議所】	ファッションビジネス能力検定 【一般財団法人日本ファッション教育振興協会】	洋裁技術認定試験 【一般財団法人日本ファッション教育振興協会】	※1 パターンメイキング技術検定 【一般財団法人日本ファッション教育振興協会】	専門士 【文部科学大臣告示】
販売技術や接客技術はもちろん、在庫管理やマーケティング、労務・経営管理に至るまで、幅広く実践的な専門知識が身につく、流通・小売分野で唯一の公的資格です。	「スタイリング」を外見だけでなく、人の価値観や人生の豊かさにも関わる重要なものと位置づけ、人と物を分析すると同時に、人それぞれの「センス」を論理的に可視化するためのスタイリング理論の習得を目指す検定です。	ファッション界で販売に関わる分野を目指す方々に、販売実務に必要な知識・技術を身に付けてもらい、その実力をはかる検定です。	ファッション、デザインなどに関連する仕事をする上で必要な色彩に関する幅広い知識と応用力を証明する就職にも有利な検定試験です。	流通・ビジネス分野での仕事に携わっていく際に必要な造形知識や技術、専門知識をどの程度理解・認識しているか、その実力をはかる検定です。	服飾専門学校で身に付けた知識や技術を、審査・証明するものです。本校のような服飾専門学校で学んでいる学生には実技免除の特典があります。	アパレル業界で活躍するパタンナーに要求されるパターンメイキングの専門知識と技術の能力を、試験により評価・認定するものです。	卒業と同時に付与 専門学校の2年過程を終了すると「専門士」の称号が授与されます。本校の卒業生は、「服飾専門課程専門士」となります。

# APPAREL CREATIVE DESIGN

## アパレル造形デザイン科

3年制

パタンナーやデザイナーに必要不可欠となる豊かなデザイン力や企画力などをトータルに学び、ファッション業界で活躍するクリエイターを育成します。

服づくりにおいてパターンの技術は大変重要です。学生のニーズに合わせ、企業でもフリーランスでも活躍できるように、デザインだけではなくパターン教育にも力を入れています。しっかりとカタチにできるクリエイターを育成します。3年間を通して、デザイン、パターン（平面製図・立体裁断）、縫製に特化して学んでいくのが特徴です。作品や商品をイベントでの販売や、ファッションショーでの使用を目的に製作します。クリエイターにとっては他人に見てもらうことも大切です。色んなことにどんどんチャレンジできる機会が沢山あります。



### デザイナーコース

企業デザイナー、また、フリーランスデザイナーを育成することを目的としたコースです。クリエイティビティあふれるデザイン力と創造力を養うために芸術面にも触れ美しいシルエットやバランスも考察でき、更に時代に合ったオリジナリティに富んだ作品を生み出す人材を育成します。



### パタンナーコース

パタンナー・企画職を目指したコースです。ファッション造形の理論と技術を総合的に学びモノ作りの基礎から応用までを身につけ、高度な商品知識を持った人材を育成します。



# ABOUT STUDY

## 一歩ずつ、着実に

河村 比奈 Hina Kawamura  
 進学館高等学校出身 アパレル造形デザイン科3年

私はファッションに対する強い想いと、自分の理想を形にするために金沢文化服装学院に入学することを決意しました。もともとは医療系の学校への進学を目指していましたが私が初めて自分から強く学びたいと思ったモノが服作りで、ファッション業界に強い憧れもあり、この道を選択しました。私は決まったブランドやショップで服を購入するタイプではなく様々な場所に足を運び、気になる一着を見つけてもそこに手を加えたいことがあります。常に理想の形を求め、一つ一つ目に見える形にしていきたいという思いが私の服作りへの原動力になっているような気がします。実際に学校で学ぶことは、決して簡単なことばかりではなく、失敗することが何度もあ

り、未だに自分には向いていないのではと不安になることもあります。この2年間で少しずつ出来ることが増え、平面と立体の関係性がどれだけ大切かを学びました。また、常に自分の作品をプレゼンできる能力も必要になってくるように思います。自分自身を成長させられる機会も多く、プロジェクトなどで企業との関わりを持たせていただいたり、校外での活動にも力を入れていて、経験した数だけ今後の自分に繋がっていくと感じました。私は器用な方ではありませんが、友人や教員がサポートしてくれます。小さな積み重ねではありますが根気よく続けていくことが一番大切です、理解に時間がかかることも正直少なくはありませんが地道に努力をして行き



### PICK UP

私は企業との関わり方や縫製工場の仕組みなど学校では学びきれない部分を勉強したいという気持ちから、産学連携事業「クリエーター養成プロジェクト」に参加し、私のデザインした服をプロの方に縫製していただきました。企業の方とプレゼン兼打ち合わせでは、アパレルの現状や現場の大変さを感じました。出来上がったサンプルを試着してみると、製品としての高い縫製技術にとても興奮しました。縫製技術に慣れても私が想像していた以上の選択肢と方法があり、驚きと可能性を感じました。



## ワタシと時間割

### ドレーピングと実践パターン

将来企業で活躍する上で大切な知識を教えてください。今までの授業よりも実践的で、効率的に考えて行動することが求められます。授業のスピードが速いのでついていくのに必死ですが、しっかりと講師が教えてくれるので、私も真剣に授業に取り組んでいます。プロとして活躍されている先生方なので様々な方向から意見を下さいます。私の作品自体リアルクローズが多く製品として消費者に魅力を感じて貰いたいという思いが強いため、実際にアパレルの現場で働いている方の客観的な意見やアドバイスはとても貴重なものです。製図においてもライン一つひとつにこだわりをもって引くことやワークルのピン一つで大きな違いがあることを学ぶことができます。

		MON	TUE	WED	THU	FRI
1	9:10	デザイン画	実践パターン	パターン メーカー検定 2級取得講座	アパレルCAD	コンセプト メーカー
	10:40					
2	10:50	デザイン リソース		西洋服装史		産学連携事業
	12:20					
ランチタイム						
3	13:20	ファッション 色彩	アパレル素材論	民族衣装	ドレーピング	クリエーション
	14:50					
4	15:00	デザインPC	アパレル商品論	コンテスト チャレンジ		
	16:30					

# PICK UP CURRICULUM

## 基本技術を習得し、クリエイターとしてのプロの感性を身につけます。



### コンセプトメイキング

服づくりにおける最初の作業がデザイン画を描くことです。アニメや漫画とは違うファッションイラストレーション独特のプロポーションの取り方やポージングから素材表現までを基本的に学び、コンテストやポートフォリオの制作でも通用する表現の方法をデザイン画を通じて身につけます。



### パターンメイキング理論・実習

工業用ボディを使った既製服生産に用いられる製図方法です。生産性の高いパターンメイキングテクニックの基本をドラフティング(平面製図)やドレーピング(立体裁断)などの技法で学びます。



### ベーシック / オリジナルクリエーション

ベーシッククリエーションで様々なアイテム製作を学び、オリジナルクリエーションではそれを応用させて、自分が作りたい作品を製作します。また、他人を感動させる服づくりは沢山の時間をかけたリサーチが重要。この演習を通して、自分はどんな服を作りたいのかについても学びます。



### アパレルCAD

基本的な平面製図を学び手書きのパターンメイキングを理解した上で学ぶのがCADの授業です。製図をパソコンに入力、データ化し展開・縫い代付け・マーキングそしてグレーディングなどの機能やオペレーションテクニックと理論を実習を通して学んでいきます。CADを使いこなすことができれば必然的に就職活動に大きなプラスとなります。

# FUTURE 卒業生の進路

パタンナーやコスチュームデザイナーとして県内外はもちろん、海外でも活躍できる人財、また企画職やCADオペレーターとしてトータル的に服づくりを見渡せる人財となり、活躍していきます。

### 主な就職先

(株)オンワード樺山、(株)CAN、(株)PAL、(株)ヤギ・コーポレーション、(株)ロングラン、(株)エース、ジャパグループ、(株)ファイブフォックス など ※順不同

## 1 年次

1年次では平面製図によるパターン製作、人体に合わせた補正や素材別の縫製など服飾造形を中心に、立体構成の基本理論とデザイン表現の基本技法をマスターしながら、ファッションクリエイターとして必要な専門知識とプロとしての感性・感覚を養います。

ベーシッククリエーション	オリジナルクリエーション
ファッション通信	民族衣装
パターンメイキング理論・実習	ファッション史
アパレル素材論	デザインPC
ファッションコミュニケーション	ブランド企画

## 2・3 年次

2年次では平面による裁断理論を立体裁断の実習と合わせて、商品化を意識したパターン製作技術の向上を図るとともにデザイン発想を強化して柔軟な発想力とハイセンスな感性を養います。3年次はそれを更に深くつきつめるためにCADを使用したり工場への発注書作成を行いオリジナルアイテムの製造を工場に実際に発注したりします。また手縫いによるオートクチュールのスキルも学びこれまで以上に完成度の高い作品づくりを行います。なりたい職業や学びたい内容などからデザイナーコースとパタンナーコースを選択します。

コンセプトメイキング	パターンマジック
アパレルCAD	卒業・進級製作
【デザイナーコース】	
ファッション商品知識	デザイン画
【パタンナーコース】	
実践パターン	立体裁断

## MESSAGE

幼い頃から物作りが好きで、将来は物を作る人になるんだと決めていました。服に興味を持ち始めた頃、同時に作りたいという思いが芽生え少数人数制であることやオープンキャンパスをきっかけにカナブンへの入学を決めました。私は以前より衣装に興味があり、入学後はミュージカル、演劇、テーマパークの衣装等、授業外の活動でも数多くの衣装制作に関わってきました。実際の現場に触れ、演者が衣装を着用して舞台上に立つ姿を見て、やりがいや達成感を感じることができました。

衣装に関わる仕事がしたいという想いと、在学中の結婚式場アルバイトをきっかけにドレスに興味を持ち、ウェディングドレスメーカーに就職します。3年間で学んだ知識と技術を活かし、これからは着る人に幸せを与えられる様なドレスを作っていきたいです。

**株式会社アルファプランク / 縫製、パタンナー**  
**形川 佳那**  
 Keina Narikawa  
 富山県立小杉高等学校出身  
 アパレル造形デザイン科 2017 年度卒業



# SCHOOL LIFE

## 成長を実感

**中嶋 あすか** Asuka Nakashima  
石川県立金沢錦丘高等学校出身 / アパレル造形デザイン科3年

私は入学を志望するにあたって本校卒業生の母の影響を大きく受けています。私の母は私が幼い頃からワンピースやスカートから小物まで様々な物を作ってくれました。幼稚園の時、私の手提げ鞆は母の作った当時好きだったキャラクターの顔をそのまま鞆にした様なものでした。周りとは少し違うという所に特別感を感じ、何より自分のための服、自分のための鞆だという事が嬉しく感じたことを憶えています。日常的に母がミシンを踏んでいる姿を目にしていたため自然と服飾に興味を持つ様になり、中学生の頃にはこの学校への入学を決意していました。

1年次は新たな知識と技術を吸収することで精一杯でした。服作りについてだけでなく、ファッションビジネスやパソコンでの画像の加工技術、カメラワークなど広い範囲について学ぶことが出来ました。どの授業も興味深く、なにより自分が好きな事について学べるということが心から嬉しかったです。毎日刺激的でとても充実した日々を過ごしていました。大変濃い1年だったと感じています。

2年生になると、授業内容はより服作りに特化した専門的なものになりました。就職を意識した実践的な授業を重ねていく中で、知識も技術も1年次よりは格段に向上し、最近では自分の成長を実感することが出来る様になってきました。例えば、私の1年次の作品の中には、理想のデザインを重視するあまり、実際に着てみると着心地がよくなかったり、機動力が損なわれていたり実用性が伴わないものもいくつかありましたが、それらを咀嚼・吸収することで、今ではデザイン性と実用性が兼ね備えられていることの大切さを理解し、それを可能にする技術が身に付いてきたと感じます。自分の中の、その時その時の最善・最良のデザインや製図の方法が常に更新されているようで日々成長を実感できています。

3年次はさらに知識と技術を磨いていきたいと考えています。最近になってやっと自分が本当にしたい事が明確になってきたので、これから何が自分に必要なのかを見極め、そしてそれらを身に付けるという事を最優先に行動していきます。学生生活の中で最も多くを学び、最も多くを身に付け、何の悔いもなく卒業することが目標です。



### PICK UP

2年次前期までは1作品ずつの制作で素材も季節感もバラバラでしたが、ディテールを大切に作品作りを心掛けてきました。修了作品では素材や装飾、小物などにもこだわり、自分の世界観を表現できたと思います。今後は今までの作品の延長、そして集大成となるように、持てる知識や技術を詰め込んで、制作に臨んでいこうと思います。



## ファッションで世界と交流

**関口 すずの** Suzuno Sekiguchi  
富山県立富山いずみ高等学校出身 / アパレル造形デザイン科3年

私は幼い頃から手を動かして作業したり、絵を描くことが好きでした。高校服飾コースを経て進路を決めるにあたり、少人数制のクラス編成で教員との距離が近いこと、なによりオープンキャンパスでの学院長のトーク力に惹かれて入学しました。1年間この学校で学んできて、自分には作業における丁寧さが欠けていることを実感したので、2年生ではスピード感を守りつつ、丁寧に作業できるように心がけました。はじめのうちはなかなか実感が湧きませんでしたが、最近はパターンやトワル組みでも、「キレイにできたね」と講師に言ってもらえる機会が以前より増えたので嬉しいです。

1年次には、ロシアのハバロフスクのファッション関係者の金沢市招聘プログラムに参加し、自分の作品を紹介したり金沢市を案内しました。翌年は同プログラムにてロシアのイルクーツク市を訪問し、各都市でファッションショーを行いました。ファッションを通して文化交流を図ることができました。



### PICK UP

オリジナルブランドの作品制作を頑張っています。コンセプトやテーマを決めてから、デザイン、衣装の制作、撮影からポートフォリオまでを全て1人で行うので大変ですが、自分の思い描いていたものがどンドン形になっていくのはとても楽しいです。



## チャレンジの連続

**荒谷 里歩** Riho Araya  
石川県立金沢商業高等学校出身 / アパレル造形デザイン科3年

幼少期から家族の影響で洋服が好きでした。ロリータファッションに出会いもっと洋服が好きになり、特にアイドルの衣装を見るのが大好きで、こんな洋服を作りたいと思い服飾の学校を調べました。中学生の時、片町で行われていたファッションショーを見て本校の存在を知りました。商業高校へ進学し社会全般の基本的な商業の流れを学び、本校入学後の授業ではアパレル業界に絞込んだ勉強に役立てる事ができました。

入学してからは授業はもちろん、デザインの幅を広げたいと思い、ジャンルを問わず衣装を調べることに力を入れました。また、インターンシップに参加し、実際の現場を体験し、現場の方々からも業界に関する話をお伺いでき良い経験ができました。有志にて行った課外活動では、生地からデザインから衣装の制作ができました。

2年間で内容の濃い日々を過ごすことができました。3年次からは今まで学んできたことを生かし、より実践的な事に取り組みたいと考えています。もっと多くの経験を積みたくので、積極的に色々な事に挑戦していきたいと思っています。



### PICK UP

オリジナルブランドでは女の子の裏表を表現しています。自分で考えたコンセプトをもとに、アイドル要素を入れた衣装を制作しています。作品の一部では、自分でデザインしたオリジナルの生地を実際に企業に発注して制作していただき、衣装を制作しています。自分の作品を表現するための産学連携プロジェクトの機会に参加できてよかったと思います。



# APPAREL BASIC CREATION

## アパレル基礎科

2 年 制

デザインやパターンの基本を学びつつ、  
特に縫製技術の習得に重点を置いた学科です。

昨今のファッション業界では、何か一つを突き詰めるのはもちろん大切ですが柔軟に色んなことに対応できる人材を求めています。「パターンだけしかできない」「縫うことしかできない」人材ではなく、どの視点からも提案ができてオーダーで商品作りができる、どんな企業からも求められる人材を育成します。

2年間を通して基本的なデザイン、パターン、縫製を学ぶのはもちろん、素材とパターンとの相性や、より効率的できれいに仕上がる裁断・縫製方法について深く研究しながら、展示会やファッションショーなど、作ったものを人に見てもらい、着てもらい機会を増やすことで、更なるスキルの向上を目指します。



### アパレル基礎科

1年次で学んだデザインとパターンの知識・技術をベースに、洋服の作り方全般を総合的に学んでいきます。色んな生地に触れ、その布地ならではのパターンの作り方や縫製を研究します。ミシンだけでは補えない商品にも対応するために刺繍や手縫などの手工芸も取り入れて、リフォーマーなど広い知識と経験が無ければできない仕事にも就けるように勉強していきます。



# ABOUT STUDY

## 「ファッションはチカラになる」

私は、高校生の頃から「ものづくり」について勉強して、自分で考え出し作品を作ることが強みだと思っています。また、ファッションにも興味があったので、服飾の専門学校への進学を決めました。本校に決めた理由は、新幹線が開通し、北陸と大都市が繋がったことで、金沢がこれからもっと盛り上がると思い、その最前線で仕事をするという目標があるからです。

ものづくりは好きだけど、裁縫は中学生以来でミシンはほぼ触ったことがありませんでした。最初の授業では、他のみんなと比べて全くうまくいかず、これからついていけるかととても不安になりました。完成度を気にする性格ではないのですが、悔しくて綺麗にできるまで何度も何度もやり直しました。今でも上手とは言えませんが、お

かげでやり直す根性は身についたと思います。

授業は作ることばかりでなく、ファッション流通やモード史などの座学もあり、それぞれの得意を伸ばしていけるカリキュラムだと思います。特にファッション流通の授業では、作り手として知っておかなければならないことをたくさん学ぶことができました。ただ作れるだけでなく、どのように売るかや、ターゲットの設定など、とても興味深い授業です。

本校では学生それぞれが自分のセンスを発揮していて、先生方は得意なことを必ず認めてサポートしてくださいます。私はできない事や人と比べられる不安は今でもありますが、得意なことを堂々と得意だと言えるように少しずつでも頑張っています。

川瀬 日高 Hitaka Kawase  
富山県立高岡工業高等学校出身 / アパレル基礎科2年



### PICK UP

2年生になると「マイブランド」という取り組みで、自身のファッションブランドを企画します。自分の個性を服で表現し、制作した服のデザイン画や作品として撮影した写真などを綴ったポートフォリオも制作します。「ポートフォリオ=自分自身」、すべては将来自分のブランドを持つときの基盤としてとても役に立つものになると考えています。就職活動の際は、自信を持ってポートフォリオを企業の方に見ていただけるような作品にしていきたいです。



## ワタシと時間割

### デザイン画

私が一番熱心に取り組んでいる授業は、デザイン画です。自分の頭でイメージする服を具現化し、友達や先生から反応や評価をもらえるのが、とても勉強になるしワクワクもします。商品としての需要を考える講義では、消費者が望む服を想像し、ニーズに応えられるディテールや素材を考えてデザインし、プレゼンをしました。人に伝わるように描いて説明するのは、とても難しいと感じました。製作者の想いやテイストが伝わるように練習し、アイデアを人に伝え評価を受け改善し、よりよい自分らしい服を作りたいです。

		MON	TUE	WED	THU	FRI
1	9:10	デザイン画		部分縫い		西洋服装史
	10:40					
2	10:50	ファッション販売能力検定3級取得講座		部分縫い		民族衣装
	12:20					
3	13:20	ファッション色彩	アパレル素材論			
	14:50					
4	15:00	デザインリソース	アパレル商品論			
	16:30					

# PICK UP CURRICULUM

## 一点物から量産品まで幅広いモノづくりに対応出来る人財の育成。



### デザイン画

服づくりにおける最初の作業がデザイン画を描くことです。服は人が着るものなので、ここで言うデザイン画はアニメや漫画とは少し違います。この演習を通して、自分が作りたいイメージをどんどん膨らませて描く力だけでなく、事前にどのような服になるのかを、様々な人々に正確に伝えるツールとしてのデザイン画を描ける力も身につきます。



### アパレル素材論

アパレル業界で必要不可欠な、服づくりのプロになるための基礎知識を学びます。デザイン・パターン・縫製と全てのことに関わってくる素材の知識を増やすために天然繊維・化学繊維など布地の成り立ちから学び、それぞれの特性を知ることによりよい服づくりができるようになります。



### ベーシッククリエーション

服づくりの基本となる、人体の構造を学び採寸します。また、人体を包む衣服の基本形である「原型」作成後、基本アイテムの製作をすることで、パターンメイキング、縫製の基礎知識・技術を習得していきます。



### アパレルクリエーション

ベーシッククリエーションを通して基本的なアイテムを作ることができるようになったらそれを更に深く、そして実践的に使える技術・資料を増やしていきます。コストの面も考えたマーキングの考え方、現場でも活用できるようなファイルの作成などをしていきます。

# FUTURE 卒業生の進路

知識・技術を活かし、さらに成長することで商品企画にも携わることが出来る人財に。リフォームや縫製オペレーターのような技術と迅速な対応が求められるスペシャリストとして活躍していきます。

### 主な就職先

(株)ランブル、(株)モンスター、丸福縫製(株)、(株)クマモトニット、(株)ミヤモリ、(株)フーブスターサイ、(株)気谷、ファイブワン・ファクトリー(株) など ※順不同

## 1年次

1年次では平面製図によるパターン製作、人体に合わせた補正や素材別の縫製など服飾造形を中心に、立体構成の基本原則とデザイン表現の基本技法をマスターしながら、ファッションクリエイターとして必要な専門知識とプロとしての感性・感覚を養います。

ベーシッククリエーション	西洋服装史
ファッション通信	民族衣装
パターンメイキング理論・実習	ファッション史
アパレル素材論	デザインPC
ファッションコミュニケーション	ブランド企画

## 2年次

2年次では平面によるパターン製作や裁断理論の向上をはかりながら商品化・実践的な仕事と同じ要領で作業をこなしていきます。完成品に至るまでを創造力をはたかせてイメージし、それに最もふさわしいパターンや縫製の方法を導き出していく力をつけます。

デザイン画	部分縫い
卒業・進級製作	アパレル商品論
トレンド情報	アパレルクリエーション
セールスワーク	パターンメイキング検定3級取得講座

## MESSAGE

私は服を作る技術を手にしたという思いと、実際にカナパンに通っている在学生の話を聞いて入学を決めました。昔から絵を描いたりものづくりが好きだったのでその中で服づくりもできるようになればいいなと思いました。これまでの学生生活で色々な人と出会い、言葉を交わしていくうちに人との繋がりの大切さを実感しました。私が今自分の好きなことに向かって行動ができるのも全て多くの人の支えがあったからだと思っています。入学してコミュニケーションを取ることの大切さを学び、それによって行動力が身

につきました。卒業後はフリーで自分のやれることをしていきます。既に取り組みは進めていて、憧れの劇団の制作スタッフとして携わり、表現活動の手伝いをしています。私も今後は自分の世界観やできることをあらゆるやり方で表現していきたいです。

**劇団おぼんろ**  
/ 舞台製作兼役者  
**浅沼 真夏果**  
Manaka Asanuma  
熊本県立熊本工業高等学校出身  
アパレル基礎科2年 2017年度卒業



# FASHION BUSINESS

## ファッションビジネス科

2年制

ファッションアドバイザーに必要な、  
ビジネス、ファッション販売、トータルコーディネートなどの基礎を学び、  
ファッション小売業界の最先端で活躍するプロフェッショナルの育成を目指します。

ファッションは生鮮食品と一緒に“鮮度”や“旬”が命。また、ファッション業界の仕事は、「他人=お客様」の人生をより素敵に演出する、自分の“好き”などで誰かの役に立てる素晴らしい仕事です。2年間を通して、接客・販売、マーケティング、マーチャンダイジング、マネジメントについて、幅広く学んでいくのが当科の特徴。お客様の顕在的な欲求

に応えながらも、潜在的な欲求を引き出せるようなスキルを様々なワークを通して磨いていきます。そして、即戦力となれる、知識・技術・人間性を有し、服だけでなくメイク・ネイルを含むトータルで消費者に最新のファッションを提案できる人材を目指します。



### ショップマネジメントコース

ショップオーナー・アパレルマーチャンダイザーを目指したコースです。ファッションビジネスで新たなビジネスを創出する力を身につけます。市内で開催される物販イベントの運営を通し、将来起業する際に使える事業計画書を作成します。



### ショップスタイリストコース

ファッションアドバイザー・スタイリストを目指したコースです。ファッションの持つ潜在的な「価値」をビジュアル化し、ビジネスに変える感性やスキルを磨きます。ファッションショーイベントの企画、運営やフォトブックの製作を通し、スタイリングの提案力、発信力を身につけます。



# ABOUT STUDY

## “苦手”の向こう側にある大きな達成感

宮脇 麻夏 Manatsu Miyawaki  
 富山県立志貴野高等学校出身 / ファッションビジネス科2年

私の父は自動車の工具を売るディーラーの仕事をしています。入学を決めるまでは、そんな父の手伝いをしようと考えていましたし、私が手伝うと聞いて父は喜んで賛成してくれていました。将来、自分が何をしたいのかわからず、悩んでいた私にとって一種のこじつけでもあったと思います。でも、そんな私に母は「自分が本当に好きなことをしたいいいよ」と言ってくれました。そのおかげでやっと自分の将来について向き合うことができました。私の母は服が大好きで、いつも可愛い服を着ていてオシャレでした。そんな母の影響で服が好きになり、スタイリストの仕事にも興味がありました。ファッションのことをもっと知りたいと思うようになり、入学することを決めました。そう言っても私はファッションが

好きという気持ちだけで、縫製は得意ではないパソコンも苦手だし、正直得意なことよりも苦手なことが多くてすごく大変で何回も投げ出したくなることもありました。例えば、三井アウトレットパーク北陸小矢部のファッションショーに、フィッターとして参加した時のことです。フィッターとはモデルの衣装の早着替えをサポートする役目ですが、ショー中は衣装を着せたかと思えば脱がして、別の衣装を着せて…の連続で、常に動きっぱなしの状態で大変でした。ですが、逆にそうした裏方の責任ある仕事を任されたことで、とてもやりがいを感じられ、同時に、とても楽しかったです。とてもいい経験になりました。



### PICK UP

母の影響でLIMI feuのアニバーサリー企画として一般枠のモデルとして撮影に参加しました。11月の寒い中で春夏アイテムを着ての撮影は大変でした。好きなブランドということもあり、緊張して表情が硬くなるし、どんな感じでポーズをとったらいいのかわ

らなくて、リアルクローズというイメージの中での撮影は初めてで難しかったです。モデルの仕事はただ着るだけではなく、そのブランドのイメージを崩さないようにしなければいけないということ学びました。この経験を生かして将来に繋げていきたいです。



## ワタシと時間割

### スタイリストワーク

授業で学んだことを生かして自分でコーディネートを考えて誰かに着させたり、その反対で私が着たり、テーマに沿ってコラージュを制作したりしています。他にも私はプレゼンが苦手でしたが、入学してからプレゼンの機会が増えたことで、人前に立って話せるようになり、好きなことや得意なことたくさん見つかり、苦手なことも少しずつなくなっていました。

		MON	TUE	WED	THU	FRI
1	9:10	流通経済情報	英会話	アパレル商品論	西洋服装史	民族衣装
	10:40					
2	10:50	ネイル	企業戦略 マーケティングII	ヘア	セールスワークII	デザインPC
	12:20					
ランチタイム						
3	13:20	カメラワーク	アパレル素材論	クライアントワーク	スタイリストワーク	メイク
	14:50					
4	15:00	リテールマーケティング 検定2級取得講座	ベーシック クリエイション	アートワーク		ファッション販売能力検定 2級取得講座
	16:30					

# PICK UP CURRICULUM

## ファッションについて、全てを学ぶ



### ファッションビジネス論

1年次においてファッションビジネス・マーケティング、セールスプロモーションの基本を学び、ファッションビジネス能力検定3級の資格取得を目指します。2年次では、1年次で修得した基礎知識を応用し、より深く広くファッション業界の知識を理解していきます。ファッションビジネス能力検定2級のビジネス知識分野にも対応します。



### スタイリストワーク

コーディネート基礎を学び、オリジナルのコーディネート企画。服だけでなく、ヘアメイク、ネイル、アクセサリーなど今まで学んだスキルを活かしながらトータルコーディネートしたものを自ら写真撮影し、編集して作品に上げていきます。



### 事業計画書

自分がやりたいショップを立ち上げるための事業計画書を作成します。マーケティング・ビジネスプランの作成を通して、説明やプレゼン能力の技術も高めていきます。日本政策金融公庫の融資担当者にプレゼンテーションを行い評価していただくことで自信をつけることができます。



### セールスワーク

売り場で即戦力として活躍できるよう、接客・販売のロールプレイングを繰り返し行っていきます。現役店長が、マンツーマンでプロの販売スキルを教えてくださいます。

## 1年次

ファッションの総合的な基礎知識と商品の生産、流通、販売、消費などファッション業界全体のシステムと各業態の構造や役割、ファッションビジネス実務の基本などを学び、同時にスタイリングに必要なセンスを養います。

ファッション流通	スタイリストワーク
ファッション商品知識	ファッション史
セールスワークI	アパレル素材論
ファッション色彩学	ビジネスPC
イラストレーション	クリエイション

## 2年次

ショップオーナー・アパレルマーチャンダイザーを目指したショップマネジメントコースとファッションアドバイザー・スタイリストを目指したショップスタイリストコースに分かれ、それぞれより専門的に学習し将来のビジョンに対応します。

セールスワークII	デザインPC
【ショップスタイリストコース】	
ファッションコーディネート	ネイル
カメラワーク	リメイククリエイション
【ショップマネジメントコース】	
ビジネスプランニング	事業計画書
ショップデザイン	商品企画

# FUTURE 卒業生の進路

プランナーやセールスマネージャー、ショップ経営、バイヤーや商品企画職として求められる人材。またファッション関連企業の総合職やディレクター、マーチャンダイザーとして世界で活躍していきます。

### 主な就職先

(株)ユナイテッドアローズ、ディーゼルジャパン(株)、(株)クレヨン、(株)三陽商会、(株)オンワード樫山、(株)バレイ、(株)ワールドストアパートナーズ、(有)FAVOR、(株)ナイスクラブ、(株)ファイブフォックス など ※順不同

## MESSAGE

私は学校生活で、自分から進んで沢山の事に挑戦してきました。リーダーとなってチームをまとめたり、協力して新しい企画を考えて提案することはとても楽しかったです。その中で、プレゼンの資料を作り、全校生徒の前で発表してきた経験は今後の私の強みになると思います。努力した結果が数字で現れたり、企画が成功する喜びを感じることができました。卒業後は、ファッションアドバイザーからプレスや人事部を目指しています。これらの役職は、自分自身の頭張り次第で、会社全体の評価に繋がる大切な役割です。責任が大きい分、目標を達成できた時の喜びも大きいと思います。自分が納得できるまで努力を惜しまない事と、成功した喜びを忘れず、必要とされる人材になれるよう、目の前にあることを全力で頑張りたいです！

**株式会社ストライプ  
インターナショナル  
/ 販売員  
端 桃佳**  
 Momoka Hashi  
 石川県立工業高等学校出身  
 ファッションビジネス科 2017年度卒業



# SCHOOL LIFE

## さようなら、過去の自分

末次 摩子 Mako Suetsugu

福井県立坂井高等学校出身 / ファッションビジネス科2年

私は学校外のイベントや特別講習などに積極的に参加しています。最近で言うと、秋の雑貨作家マーケットや夏頃から通い続けているファッションビジネスのゼミです。雑貨作家マーケットは2年生の先輩方のお手伝いという形で参加しました。春にも1年生全員で参加しましたが、入学したばかりで分からないことばかりでカナブンスの目標売上に届かず悔しい思いもしましたが、今回は先輩方が私たちを引っ張ってくださったおかげで目標売上を超えることができました。私自身としても改めて接客の楽しさやワークショップのお客様の呼び込み方のコツを知ることができました。次回また私たちが運営するときはその目標売上に更に上回れるように頑張りたいです。ゼミでは月に1回、講師の渡部さんに授業では学び足りないファッションビジネスについてだけでなく、ビジネスについて幅広く学んでいます。ゼミのメンバーの個々の夢はバラバラですが、同じファッションビジネスに向かって学ぶ仲間がいることで私も夢を叶えたいという気持ちが強くなりました。また、このゼミに通い始めてから大きく変わったこともあります。それはネガティブさです。私は性格上すぐ不安になったり失敗を恐れてしまい、ネガティブな発言を言ってしまうことがありました。しかし、まずはネガティブさを出さないよう意識することだ、と渡部さんにアドバイス頂いてから徐々に何事も失敗を考えるよりチャレンジしてみることが大切だという考え方に変わりました。まだ少しネガティブな気持ちが先に行ってしまうようになるときもありますが、思い切ってチャレンジしてみることでまた新しい知識が得られたり、新しい視点から事が見えるようになったりチャレンジして良かったと感じることがばかりです。これからもこのチャレンジ精神を加速させて頑張っていきたいです。

2年次では BUNKA 奨励金を頂いて活動しているストリートスナップ団体「Caprice」のメンバーと大きな何かを成し遂げたいと思っています。例えば団体が主体となってイベントを開催したり、学校全体を巻き込んでより活発に活動したいです。また就職活動も本格的に始まるので、自分に向いているのはどのような企業なのか、今からしっかり調べて自分の力がより発揮できる企業に就職できるようにしたいです。



### PICK UP

以前から音楽が好きでしたが、最近は様々なジャンルも聴くようになりました。高校時代はアイドルやポップばかりでしたが、今まで全く聴くことがなかったロックも聴くようになり、毎日好きな曲ばかり聴いています。カナブンに入って個性的な友達が増えてファッションも音楽も知識が増えたと思います。友達から知らなかった曲やバンドなど教えてもらいながら音楽を聴いていると、自然と生活の中でも視野が広がる気がします。



## ファッションの可能性を楽しんで

南部 元春 Motoharu Nanbu

富山県立伏木高等学校出身 / ファッションビジネス科2年

私が入学して頑張って取り組んだのは、パソコンを使ったコラージュ作品の制作やスタイリングの授業です。コラージュ制作が私はとても好きで、気づいたら夢になっています。この授業を通して私は、ファッションの新しい可能性や楽しさを感じました。スタイリングの授業では、テイストに合った服を選び相手にコーディネートしていきます。慎重に考えて、とても頭を使わなければならない授業です。最初の頃は間違えることもたくさんありました。今はコツを掴んで、技術も向上し、表現力がアップしたので授業が楽しくなってきました。

私はとにかく不器用で、裁縫がとても苦手で、服を製作する授業や部分縫いなどで何度も心が折れそうになる時がありました。しかし、同じ学年のみんなの手助けや先生の指導のおかげで乗り越えていくことができました。2年生では自分で考えて服を制作し、それを商品にして売っていく機会が増えるので、自分の個性が活かされたり購入してくださる人が笑顔にすることができるような服づくりを心がけ、頑張ります。



### PICK UP

私の最近の Boom は古着です。この学校に入ってから古着の良さに気づき始め最近では古着しか買っていません。新しい服にはない様な古着独特の渋さが好きでとてもはまっています。



### PICK UP

私は高校生の時から写真を撮ることが好きで、よく風景を撮っていましたが、課外活動の「Caprice」では撮影担当として活動していて、人物撮影をする機会が増えました。また、学校にはいろんなジャンルの音楽やファッションを好む人がいるので、新しく知れる情報がたくさんあり、充実した学校生活を送れています。プライベートでも好きなことにたくさん取り組んでいきたいです。



## 客観的に自分を見つめること

永谷 陽 Hinata Eitani

石川県立輪島高等学校出身 / ファッションビジネス科2年

私はこの一年を通して、BUNKA チャレンジ奨励金制度で発足したストリートスナップ団体「Caprice」のメンバーとしての活動に力を入れています。この活動を始める前は、なかなか行動に移せないことが自分の弱みでしたが、自分が得意なことは率先して挑戦し、苦手なことはメンバーと協力して取り組みました。メンバー個人の得意分野を活かし、これからいろんな活動を増やして、より楽しく充実した活動ができるように努力していきたいと思っています。

私は幼い頃からずっとスタイリストになることが目標で、そのために身に付けられるカリキュラムが魅力で入学を決めました。東京でのスタイリストアシスタントのインターンシップで働かせていただいて、自分が抱いていたキラキラしたイメージとは逆に、実際の現場はとても厳しいものでした。この経験を通して、自分の欠点と得意な部分も新しく見つけることができ、貴重な機会となりました。最近では学校の授業や日々の生活から自分と向き合い、活かせる部分を探し、強みを増やす努力をしています。今後の活動や勉強、就職活動に役立、自分を100%アピール出来るよう頑張っていきたいです。

# FASHION CREATIVE

## ファッションクリエイティブ専攻科

1 年 制

ビジネス性と創造性を兼ね合わせた  
企画力や市場判断力（マーケティングマインド）を磨き、  
業界をリードするプロフェッショナルを育成します。  
企業インターンやクライアントワークを通して、  
より現場に近い経験を積み、  
即戦力としてのスキルを身につけてます。

クリエイティブとは「創造的なさま、独創的なさま」、という意味があります。  
インターネット社会の進展、溢れるモノや情報、そうした時代の急速な変化に伴い、益々差別化・持続が難しくなってきた現代のファッションビジネス。これまで、そうしたクリエイティブは効率化・合理化が各方面で推し進められた中、企業によってはあまり重視されませんでした。しかし、先述のような時代の変化によって、改めて、クリエイティブな発想や、それらを形にしていく知識・技術・感性・感覚が、その重要性を増しています。ファッションクリエイティブ専攻科ではアイデアをカタチにするためのスキルを磨く1年制のコースです。ファッションクリエイティブ専攻科では今まで学んできた専門知識・技術をベースに、雑誌やポスター、フライヤー、Web などの、プロモーションツールの作成に必要なデザインスキルをより高めていきます。



## PICK UP CURRICULUM

### ファッションについて、広く深く学ぶ



#### カメラワーク

こんな雑誌を作りたい! 次回のイベントのフライヤーはこんなデザインにしたい! という想いをカタチにしていくためには素材が必要です。ヘア、メイク、モデル、衣装、撮影場所にこだわった、素敵な写真たった一枚で、そうした想いがより明確に伝わるものです。そうしたこだわりの一枚をプロ仕様のカメラやスタジオセットを活用し、仕上げていきます。



#### web スキル

主にフォトショップやイラストレーターなどのグラフィックソフトを使い、画像の加工技術やデザイン作成技術を通して、紙媒体を電子媒体に変換できるスキルを養います。更に、現代では欠かせない、ホームページやブログ、Webショップの構築スキルや情報発信スキルを幅広く学んでいきます。

## FUTURE 卒業生の進路

プランナーやセールスマネージャー、ショップ経営、バイヤーや商品企画職として求められる人材。またファッション関連企業の総合職やディレクター、マーチャンダイザーとして世界で活躍していきます。

#### 主な就職先

青山商事(株)、石田屋、Williamson-Dickie Japan 合同会社、オリジナルブランド「ねむねむ」デザイナー など ※順不同

### 1 年次

クライアントワークの一つとして、本校や外部主催のイベントプロモーションツールの作成を通して、プロがやっている仕事の流れを体得していきます。

Web スキル	ファッションビジネス英会話
ファッションコーディネートIII	セールスプロモーション
マイブログ	プロダクション
ショップワーク	カメラワーク
トレンド情報	卒業制作

## MESSAGE

カナプンの一番好きなのは、企業や社会という大きなステージに立つために必要になってくるマルチなスキルだと思います。社会に出てからの一番大切なことをカナプンで得ることができて本当に良かったです。

株式会社 EAST by WEST  
/ 販売員

川島 凧紗  
Nagisa Kawashima  
金沢学院高等学校出身  
ファッションクリエイティブ専攻科  
(旧ビジネス専攻科) 2016 年度卒業



# SUPPORT YOUR CHALLENGE

## BUNKA チャレンジ奨励金

この制度は本校の学生の創作活動や課外活動を学校が支援しようとするものです。例えば、全国各地のファッションコンペティションに出品する作品製作に掛かる費用や、産学連携を進める企画、作品製作に掛かる費用等の一部を、最大10万円までの範囲で支援するというものです。

流れは、エントリーシート提出→書類選考→プレゼンテーション→判定 というもの。書類選考を通過した学生の熱いプレゼンテーションを審査員が企画の実現可能性や社会的インパクト、また、製作者・企画者の意気込みがどれだけ感じられるか？というような基準で審査します。製作物・企画物の形状や形式、発表形式は自由です。

作品の独自性や創造性、企画の実現可能性や社会的インパクト、そして、何よりも製作者・企画者の意気込み等を審査員が審査し、1円～10万円の奨励金を決定、支給します。



## 2017年度 事例紹介



### コンテスト出品予定作品の制作費等

アパレル造形デザイン科3年生の出村茉莉子さんが、個人作品『テーマ：愛するということ』の製作に係る費用の内、10万円の申請を行いました。満額取得の後、製作された作品は第40回 HEP FIVE オリジナルファッションコンテストの1次審査を通過（応募総数1,862点中40点通過）し、最終審査会に臨みました。惜しくも受賞は逃しましたが、本人にとって、大きな経験となりました。



### オリジナルブランド “AKECHI” 立ち上げ

アパレル造形デザイン科2年生の明地恵大さん、河村比奈さん、森穂高さんの3名が、明地さんの名前を冠したブランドを協働で立ち上げるための費用の内、10万円の申請を行いました。満額取得の後、金沢フォーラス、Steady.（堅町商店街内のカフェバー）等で展示受注会を開催。今後も精力的に活動を続けていきます。



### ストリートスナップ団体 “CAPRICE” の活動費

ファッションビジネス科1年生の永谷陽さん、後藤うめさん、末次摩子さん、橋本真波さん、野田明日香さんの5名が、タマチストリートをはじめ、市内各商店街に行くオシャレな人たちのファッションを発信するためのスナップを行うための活動費として8万円の申請を行いました。残念ながら、支給額は3万円となりましたが、計画的に活動し、冊子物を発行、2018年4月からはタマチストリーの公認インスタグラマーとなりました。

※文中の学年は2017年度当時のものです。

# SCHOOL LIFE

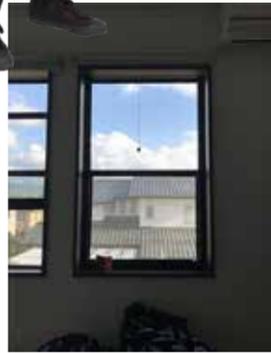
カナブンの1日の過ごし方



**上田 壮汰**  
Souta Ueda  
石川県立工業高等学校出身  
アパレル造形デザイン科2年

授業では衣装制作に一切手を抜くことなく自分のペースで最後まで仕上げ、学外ではオリジナルTシャツを制作したものをナイトイベントで販売も行うカナブンのメンズリーダー!

7:45 起床



その日の天気や気分で服装を決めます。まずは部屋の窓から天気チェック。

8:30 通学



天気のいい日は自転車で気持ち良く通学しています。いつもお気に入りの黒の自転車。川沿いの新鮮な空気を全身で感じながら走るのが好きです。

9:10 授業



今日はクリエイション。パターンメイキングは時に難しく感じることもありますが、クラスメイトと声を掛け合いながら、楽しく受講しています。

12:20 昼休み



昼食にはよくラーメンを食べに出かけます。

16:30 SWOT



今日は個人の制作を集中してやっています。

20:00 帰宅



夕飯をしっかり食べて次の日に備えしっかり寝ます。

6:00 起床



今日の服装でポイントがある時や自分がいいと思った時は SNS に投稿しています。

9:00 学校



今はBFRに向けての製作をしています。私は製図が苦手なので苦労していますが友達や先生に教えてもらいながら楽しく授業に取り組んでいます。

12:00 ランチ



大好きな友達とお昼ご飯を食べながら色んな話をして沢山笑って楽しんでいます(笑)。

17:30 アルバイト



セレクトショップでアルバイトをしています。私はアパレル造形デザイン科に所属しており、授業の中で、普段、販売のことを学べないのでバイトで学んでいます。実際に接客をしていて課題が見つかるということは毎回のようにあるのでとても勉強になっています。

**北村 あずさ**  
Azusa Kitamura  
金沢麗台高等学校出身  
アパレル造形デザイン科2年

自身の作品制作だけではなく、家族の私服も制作し、学外活動ではファッションモデルも行うカリスマ学生。明るく元気で輪の中心に立つカナブンのムードメイカー♪

21:30 帰宅



洋楽を聴きながら雑誌やカタログ、好きなモデルさんの写真集を見るのが好きな時間です(笑)。ちなみに私は NYLON、ViVi、S-cawaii の雑誌をよく見てます!!

22:00 課題・製作



学校から出された課題や個人で行っている製作をしています。色んなことに挑戦するのが好きなのでこれからも様々なことに挑戦し、個人の活動もしていきたいと思っています。この写真の物はデニムを使ったタイトスカート・バッグ・コルセットで実際に家で作りました。

25:00 就寝



1日24時間じゃ足りないくらい充実した日々を過ごしています。その日の出来事を振り返りながら寝る準備をし明日のスケジュールを確認して寝ます(笑)。

# EVENT

年間行事

- 4月 入学式、前期開始  
オリエンテーション  
球技大会  
就職ガイダンス
- 5月 単位互換制インターン  
北陸産地研修  
健康診断  
就職個人相談会
- 6月 パターンメイキング技術検定(筆記)  
ファッションビジネス能力検定(夏期)  
雑貨×作家マーケット
- 7月 前期試験  
ファッション販売能力検定(夏期)  
夏期休暇
- 8月 JAFIC インターン  
夏期集中講座
- 9月 後期開始  
パターンメイキング技術検定(実技)  
森の青空アート
- 10月 新入生願書受付開始  
関東研修  
カナブンス祭  
教員認定講習会(Ⅰ)
- 11月 ファッションビジネス能力検定(冬期)  
色彩検定  
教員認定講習会(Ⅱ)  
雑貨×作家マーケット
- 12月 ファッション販売能力検定(冬期)  
冬期休暇  
海外研修旅行
- 1月 洋裁技術検定、学年末試験
- 2月 針供養  
卒業・進級試験  
BUNKA FASHION ルネサンス  
(ファッションショー・展示会)
- 3月 卒業式、春期休暇



# Bunka Fashion Renaissance

## 卒業作品 展示会・ファッションショー

卒業年次生が中心となり、  
 これまでの「学び」の集大成として製作した作品を  
 展示・発表する本校主催のイベントです。  
 企画・演出・構成・モデルなどすべてを学生が手がけます。



会場は金沢の中心に位置する HARMONIE および  
 金沢21世紀美術館の2会場にて開催。



# ACTIVITY

## 学びのフィールドは学外に広がっています

### 県内外に限らず

各公共機関や団体・企業の方々から様々な

コラボレーションの要請や依頼をいただく機会が増えています。

本校学生はそうした多くの方々との交流や協働作業を通して、

人間的にも技術的にもたくさんの方々のことを学んでいます。

## 近年の活動実績

2012

- YOKOHAMA ART DEPARTEMENT 作品展示ショー・販売
- 金沢市 協働のまちチャレンジ事業 学生部門 ショップ企画案採択
- 学生チーム \* macaron \* × 株式会社メープルハウス  
コラボレーションショー「Maple Show」

2013

- カナブン祭@ラブロ金沢 学生バイヤーによるセレクトショップ
- 金澤ファッションコンペティション 作品製作
- 金沢 21 世紀美術館「フィロソフィカルファッション」講演参加
- 金沢市 協働のまちづくりチャレンジ事業 そめまっし金沢 採択
- 金沢ティーンズミュージカル「Savvy？」衣装製作

2014

- 金沢市 協働のまちづくりチャレンジ事業 KANAZAWA 福 by 和バンギャルド 採択
- タテマチ学園祭 ファッションショー開催
- 雑貨 × 作家マーケット
- 金沢まちなか宵市 ファッションショー開催
- 金沢ティーンズミュージカル「Potion」衣装製作

2015

- 文部科学省委託事業 職域プロジェクト「地域連携によるファブリックに精通したファッションクリエイター人材育成プロジェクト」参加
- 金沢市 協働のまちづくりチャレンジ事業「金澤プロジェクト」採択
- 金沢市 クリエーティブベンチャーシティ金沢  
ビジネスプラン・アワード /2015「おかいものフレンズ」受賞
- 日本アパレル・ファッション産業協会 (JAFIC) プラットフォーム事業 参加
- 金沢ティーンズミュージカル「Missing you」衣装製作
- BUNKA チャレンジ奨励金

2016

- カナザワ映画祭 マッドマックス「怒りのデス・ロード」怒りの爆音大上映会 太鼓隊 衣装製作
- 三井アウトレットパーク 北陸小矢部ファッションショー スタイリスト参加
- 関西ファッションカレッジコンソーシアム主催、株式会社バル協カバルカップ
- 「雑貨 × 作家マーケット」と「森の青空アート」
- 日本アパレル・ファッション産業協会 (JAFIC) プラットフォーム事業 参加
- 金沢ティーンズミュージカル「tresor！」衣装製作
- BUNKA チャレンジ奨励金
- アプリ「おかいものフレンズ」配信開始
- 産学連携事業「カラーマーク社 × 金沢文化服装学院」



## 豎町校舎オープン記念講演

4/28・29 の 2 日間、豎町校舎オープンを記念して、同校舎 1・2 階 HARMONIE にて講演会・レセプションを開催しました。日本に初めて「ファッションビジネス」という言葉と概念をもたらした尾原蓉子氏 (元 IFI ビジネススクール学長) や、世界三大ファッションスクールの「アントワープ王立芸術学院」を日本人として初めて卒業された福園英貴氏 (ファッションブランド WEWILL 代表) をお招きして、ファッション業界最新動向や、世界の動き、ブランドを立ち上げるために必要なノウハウについてレクチャーいただきました。レセプションには北陸のみならず、首都圏の企業や団体の方々がお祝いに駆けつけてください



## ロシア研修旅行

5/30~6/6 の 8 日間、本校学生が、日露青年交流事業の一環としてロシア政府から招待を受け、ハバロフスク、イルクーツクの 2 都市で、「日本の文化の素晴らしいさを伝えること」を目的にしたファッションショーを行ってきました。慣れない異国での公演でしたが、多くのお客様が来てくださり、たくさん拍手喝采を浴びてくれたおかげでショーは大成功！その他、2 都市の観光名所やデザインスクールを訪問し、様々な文化を肌で感じ、楽しく、学びの多い一週間となりました。スパシーバ (ロシア語で「ありがとう」)！

報告：アパレル造形デザイン科 2 年 関口すずの



## タテマチストリートファッションショー

8/20 に豎町校舎で「サマースクールII」が行われました。ファッションショーは、このイベントの為に 1 年生が衣装やメイク、演出や BGM などすべて自分たちで考え、作り上げたもの。参加者のみならず、タテマチストリートでお買い物を楽しむ方々も足を止めてショーに見入っていました。また、ファッションビジネス科 2 年生はオリジナルアイテムショップの運営と、白シャツをリメイクして作った作品を使ってショーを行いました。アパレル造形デザイン科の学生は地元北陸産地の生地を使って制作した作品を展示。生地を提供していただいた企業の方々にも大変好評をいただきました。



## KIMONO × デニム

11/3「いしかわファッションフェスタ 2017」が金沢フォーラスで行われ、ファッションビジネス科 2 年ショップスタイリストコースの学生がファッションショーを行いました。この取り組みは「スタイリストワーク」という授業の中で春から取り組んだ「着物」をテーマにしたスタイリングです。授業の担当は大手女性誌などのスタイリングも手がけるプロのスタイリスト南 拓子氏。前期は「KIMONO × 日常」、後期はさらに発展させ「KIMONO × デニム」というテーマで各学生が各々スタイリングを組み、今回のファッションショーでのお披露目となりました。また今回着用では丸六株式会社、デニムでは株式会社エドウィンにご協力いただいております。



## 2 年生有志によるブランド「AKECHI」縫製発注とコレクション展示会に至るまで

アパレル造形デザイン科 2 年生の 3 人によるブランド「AKECHI」。様々な方々の手を借りながらも、1 つのコレクションを制作するにまで至りました。10 月末には、豎町のカフェ・バー「Stedy。」にて、また 11 月には金沢フォーラスで開催された一般社団法人いしかわファッション協会主催「いしかわファッションフェスタ 2017」の、計 2 回に渡り 2018/S (春夏コレクション) の展示会を開催しました。AKECHI の服には「クリエイター養成プロジェクト」を通して、株式会社ナカノアパレルに縫製を依頼し、プロの手によって完成された作品が含まれています。



## 光とファッションの融合 豎町カラーロード

10/7~9 に新校舎のあるタテマチストリートで「金澤・豎町 Color Load」が開催されました。世界的デジタルアーティスト長谷川氏が手掛ける「デジタル掛け軸 (プロジェクションアート)」の作品により、タテマチストリート 430m が色とりどりに染まった 3 日間。その中で本校学生によるタテマチストリートランウェイとしたファッションショーが行われました。テーマは「canvas」。真っ白な衣装をキャンバスに見立てて、そこにデジタルアートが映し出される幻想的な姿に、観客の皆さまから多くの賞賛の声をいただきました！



## 学びフェスタ 2017

9/30 に、いしかわ四校記念公園で開催された石川県内の専門学校・各種学校が一同に集い、様々な体験やステージパフォーマンスを通じて専門的な職業理解を深めるイベント「学びフェスタ」。ステージパフォーマンスでは、金沢文化服装学院 × 石川県理美容専門学校 × 金沢科学技術専門学校による 3 校合同ファッションショーを行いました。アパレル造形デザイン科 2・3 年生が石川県・福井県の生地を使用して制作した衣装に加え、モデル・スタイリングを担当しました。この様な大きな舞台でファッションショーを行える事は学生にとって良い経験になりました。



## オリジナルファッションコンテスト

アパレル造形デザイン科 3 年の出村さんが「第 40 回 HEP FIVE オリジナルファッションコンテスト」に挑戦し、一次審査の書類審査を見事通過！作品の「愛するということ」というコンセプトテーマにたどり着くまでに苦労したのだとか。その後、学生有志も手強い独創的な生地を手作業で編み上げ、衣装を完成させ、10 月中旬に大阪で行われた最終ファッションショー審査に挑みました。結果は残念ながら受賞には至りませんが、貴重な経験となったようです。



## 金沢文化服装学院 × 金沢フォーラス × 靴下屋

学生のオリジナルデザインがプリントされた靴下のコンテストが開催されました。1 次審査にて 6 デザインを選抜、続く最終審査は金沢フォーラス特設会場にて、2 週間に渡り、一般のお客様による人気投票形式で行われました。予想以上に多くの方が投票にご協力くださり、大接戦の末選ばれたのが写真にある 3 デザイン。これらは実際にプリントされ、靴下屋金沢フォーラス店限定商品として店頭に並びました。当初、在庫がなくなり次第販売終了の予定でしたが、発売直後に完売寸前になってしまった商品もあり、なんと増産決定！大変ご好評をいただきました。

※文中の学年は 2017 年度当時のものです。

# MESSAGE FROM A DIRECTOR



学院長 村上 武史  
成城大学経済学部経営学科卒。(財)IFJビジネススクールを経て(株)三越入社。銀座店婦人・ヤングキャリア担当として売り場管理をする。一般社団法人いしかわファッション協会理事も務める。

## 学院長からのメッセージ

本校は東京の文化服装学院連鎖校として1955年に開校しました。当時、女性が「洋裁」や着物の「着付け」を学ぶ場として、私の祖父母が金沢でスタートしたのが原点です。その後、職業としての「洋裁」を学ぶ学科（アパレル造形デザイン科、アパレル基礎科）と、洋服の「販売」やショップの「経営」などを学ぶ学科（ファッションビジネス科）、プロモーションやアートディレクションを学ぶ専攻科（ファッションクリエイティブ専攻科）の3学科、1専攻科で編成される学校へと変貌を遂げ、現在に至ります。

私は本校を『金沢でファッションクリエーションやファッションビジネスを学べる場』として、また、『北陸（石川・富山・福井）のファッションに関わるヒトや情報が行き交うプラットフォーム』として、これからも永続的に発展させていきます。

石川・富山・福井の北陸3県は一大繊維産地です。旧くから続く伝統的な技術でオンリーワンのモノづくりを行っている企業もあれば、世界No.1の最先端技術でモノづくりを行っている企業もあります。また、社内スタッフ全員で「販売」という仕事を研究し、お客様満足を追及し続けている企業や、知る人ぞ知る個人経営のセレクトショップがあります。糸、生地、企画・製造、染色、商品の企画・製造・販売の全てが実はこのエリアで完結します。こうした好環境下でファッションクリエーションやファッションビジネスを学ぶことはファッション業界の仕事に就くことを希望する皆さんにとって大変意義深いことだと思います。

また、本校が立地する金沢は武家文化が根付いた世界随一の文化都市です。2015年3月の北陸新幹線開業もあいまって、より多くのヒト・モノ・コト・情報が行き交う都市へと発展していくのだと思います。本校は

「ファッション」や「アパレル」に関するそれらの集結地点であり、発信拠点であることを目指し、「北陸」で「ファッション」「アパレル」と言えば金沢文化服装学院となれるよう活動を行っていきます。

例えば、これまで素材提供や見学会・インターンの実施、学生の採用を実施して下さった地元産地企業の皆さんとの連携を深めながら、学生に対してはその幅を広げていくことで、学び・成長の機会を増やし、教員を製造現場に派遣することで、その知識・技術のアップデートを図り、より質の高い授業を提供していきます。

このほか、本年4月から、北陸随一のファッションストリート「タテマチ」に新校舎を設置致します。学校が、ビジネスの現場に寄り添うことで、在校生の皆さんが、机上の学びだけでなく、実践的な学びをより得易くするためです。ファッションが好きな皆さんやファッション業界の仕事に就くことを志す皆さんにとって、また、在校生・卒業生の皆さんにとって、そして、一人でも多くの優秀な人材を欲する企業の皆さんにとって、魅力や価値のある教育機関であり続けられるよう、常に改革・改善を進めていきます。

ファッションは生活・文化。

ファッションを学ぶということは服を通して、様々なヒトの価値観や自分のそれとの違いを知ること、それを受け容れること、それに対して自分の考えを提案すること、互いの生き方を磨き合うことだと思います。我々と共に、ファッションを学びながら、最高に楽しい学生生活を送りましょう!!  
そして、皆さんの夢を実現させましょう!!

# ALWAYS SUPPORT YOU

## あなたの熱い思いをサポートします

本校の講師はそれぞれの業界での現場経験を3年以上積んでいることが必須条件となっています。現場を知っているからこそ、学生に自信を持って指導ができるのです。専門分野だけではなくファッション業界や就職活動、

# TEACHERS

## 専任講師・職員

深谷 絵美 / クリエーション、ブランドプランニング  
文化服装学院アパレル技術科卒。(株)東原にて主にセレクトショップ向けの帽子の企画・デザイナーを担当する。

下山 和希 / コンセプトメイキング  
杉野服飾大学卒。関アンビデックスにて同ブランド「I am I」のデザイナーを担当。

濱田 麻利亜 / クリエーション、アパレルCAD  
金城ファッションカレッジ卒。(株)ヤギ・コーポレーションに入社し、オフィスウェアを中心にパタンナーとして経験を積む。

藤井 聖子 / クリエーション、民族衣装  
ニューヨーク州立ファッション工科大学パターンメイキング学科卒。その後、3カ国でパタンナーや縫製指導員を務める。

村上 英輝 / ファッション流通、ヘア  
資生堂学園 資生堂美容技術専門学校美容師科卒。その後、東京の美容室でスタイリストの経験を積む。

山下 沙織 / 事務  
大阪外国語大学国際文化学科卒。金沢市役所・金沢学生のまち市民交流館に勤務し、まちづくりや学生に関わる事業を担当。

大木 美代子 / 企画デザイン、就職支援  
上田女子服飾専門学校ファッションクリエイター学科卒。商品企画、ディレクターを経験し、㈱マイナビではエリアマネジャーを担当。若年層に向けた就職指導を担当する。

## 非常勤講師

普段は各自の専門職で活動しながら、本校の学生の教育に携わっています。本校ではここに紹介した講師以外にも各分野で活躍するプロを招いています。

- 荒川 美恵子 / 実践パターン
- 五十川 員申 / ビジネスプランニング
- 石井 伸たろう / リテールマーケティング検定
- 加藤 みか / ドレーピング
- 田淵 美樹 / メイク
- 寺西 由佳 / グラフィックデザイン
- 橋本 久恵 / オートクチュール
- 原嶋 なつみ / デザインワーク
- 久田 香奈 / ファッション色彩学
- 前 伊知郎 / カメラワーク
- 松田 薫 / ネイル
- 成瀬 美子 / ファッション史
- ルーカス・リリイ / 英会話
- 渡部 大基 / ファッションビジネス概論

ほか（敬称略）

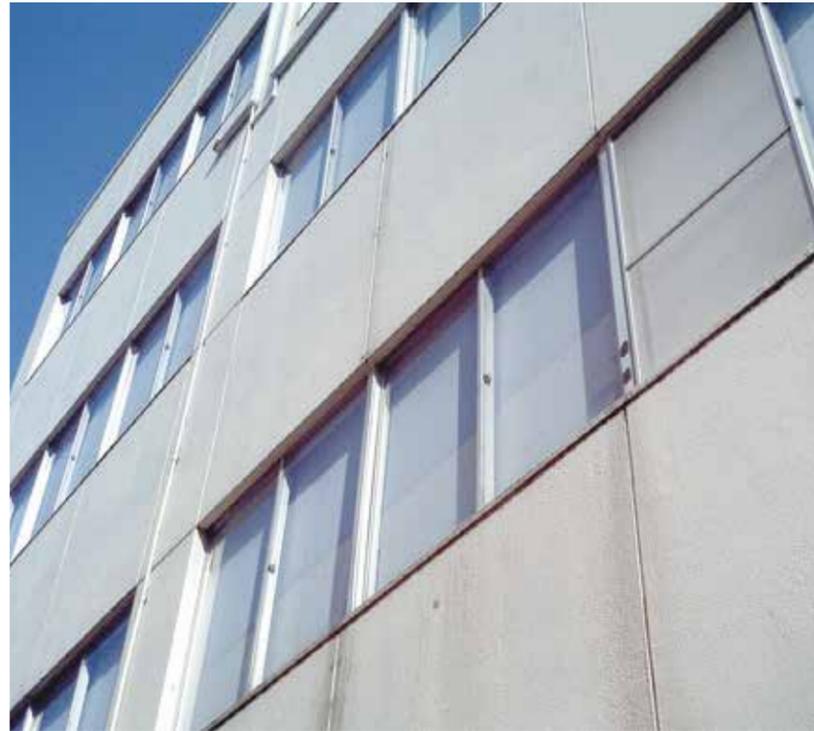
# FACILITIES

## KIYOKAWA

街中にいながら豊かな四季と自然を感じることができる  
犀川のほとりで

校舎の目の前を流れる犀川は、学生たちにとって校庭のような存在です。街中にいながら、河川敷の木々や風により春夏秋冬の季節や自然を感じることができます。ランチや撮影など様々なシーン、また学校生活の思い出の舞台となっています。構内には学生が余裕を持って作業に集中できるよう、作業スペースやミシン、パソコンなどの機材を用意しています。

清川町校舎は本校本部建物です。1955年の創業時は広坂に開校。その後、1970年に清川町に校舎を新設し、今に至ります。現在はアパレル造形デザイン科、アパレル基礎科の学生が学ぶ校舎となっています。



1【各科実習室】工業用ミシンやロックミシン、工業用バキュームアイロンを設置。完成度の高い作品作りを学びます。

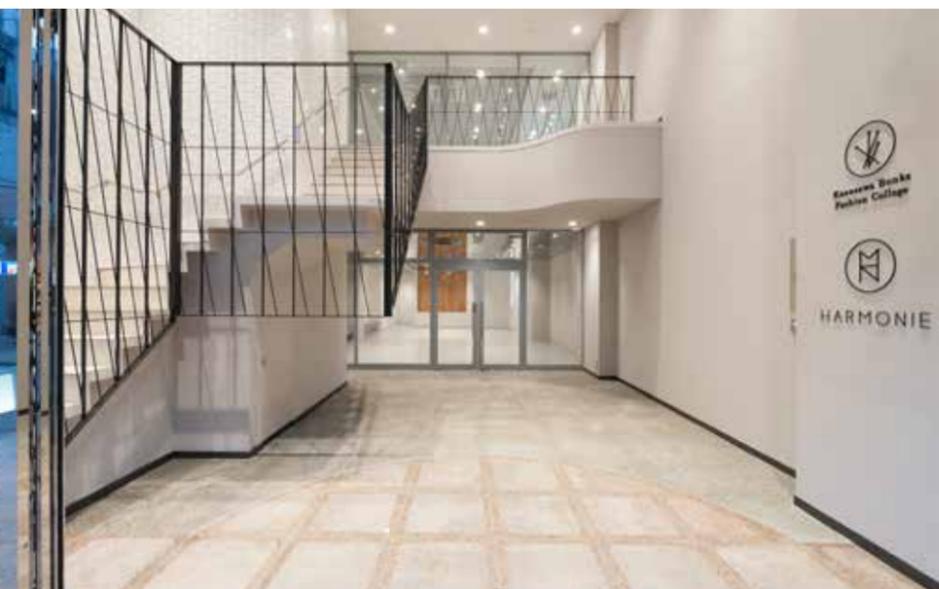
2【パソコンルーム】フォトショップやイラストレーター、パワーポイントなど各種ソフトを幅広く演習に使用。企業の求人検索やエントリーなど、就職活動にも利用できる環境が整っています。また、最新CADシステムでのパターン作成やグレーディング（サイズ展開）、マーキング、縫製仕様書作成などを演習を通して学びます。なお、空き時間はいつでも自由に使用できます。

3【スタイリッシュルーム】カラーコーディネートやメイクアップ、ネイルなど“きれい”を創造する多目的実習スペースです。

4【フォトスタジオ】カメラの演習や作品の撮影などに使用し、雑誌やカタログのステール撮影を実習します。

5【図書スペース】最新のファッション雑誌から年代物のデザイナーの資料など多種多様揃っています。デザインソースなどを参考にするために、いつでも自由に使用できます。中には切り抜き可能な資料もあります。

6【キャリアプランニングスペース】就職受験に役立つ専門誌や過去の就職活動記録が保管してあります。就職活動に関するアドバイスはもちろん、エントリーシートや履歴書などの書類作成支援、模擬面接などを行う場所です。



## TATEMACHI

人と情報が溢れるこの街は、  
ファッションистタの感性を  
刺激するワクワクが溢れている

まちなか立地を生かしたカリキュラムを積極的に  
導入し、より実践的なファッションビジネス教育  
を行っています。ミシンやアイロンを揃えたクリ  
エーションスペース、ディスプレイや販売の模擬  
時演習ができるバーチャルショップスペース等を取  
り揃えた、ファッションに特化した教室が、校舎  
3階以上に広がります。

1・2階は経済産業省より、平成28年度まちなか  
商業活性化支援事業の認定と、過去、ファッショ  
ン産業都市宣言を行った金沢市の支援も受け、  
「ファッション/アート分野に関わる人の交流拠点」  
として、同分野での活躍や起業を目指す若者を中  
心に、多くの人々に活用して頂ける施設  
HARMONIE（ハルモニー）としてオープンしまし  
た。



1【各科実習室】工業用ミシンやロックミシン、  
工業用バキュームアイロンを設置。完成度の高い  
作品制作に専念できる広い作業台や設備を備え、  
開放感のあるフロアになっています。

4【共有スペース】学年やクラスを隔てず創作活  
動に専念できるよう、共有スペースを設けていま  
す。場所に捉われずフレキシブルに活動できるの  
も堅町校舎の強みです。

3【パソコンルーム】オフィス・グラフィックソフ  
トなど各種幅広く演習に使用。快適に作業できる  
よう、最新の機種を用意しています。就職活動な  
ども利用できる環境が整っています。なお、空  
き時間はいつでも自由に使用できます。

4【フォトスタジオ】カメラの演習や作品の撮影な  
どに使用し、雑誌やカタログのスチール撮影を実  
習します。



## LOCATION



## FULL OF SERENDIPITY

### 金沢の中心街、犀川のほとりで

ファッションを学ぶために大切にしたいことの1つに、学校立地があります。本校は兼六園や武家屋敷などの古い街並みと、現代アートを間近に感じられる金沢 21 世紀美術館などの施設が数多く存在する世界随一の文化都市「金沢」にあるということ、金沢の中心街、ファッションビルや個性的なショップが建ち並ぶタテマチ・香林坊から歩いて5分という魅力的な環境に校舎を置いています。人と情報が溢れ、

最新のトレンドを発信する華やかなこの街はファッションистの感性を刺激するワクワクが溢れているもう1つのスタディーゾーンです。

校舎の目の前を流れる犀川は学生たちにとって校庭のような存在です。街中にいながら、春夏秋冬の季節を感じることができます。ランチや撮影など様々なシーンで活用しています。

## SUPPORT YOUR DREAM

一人ひとりを全力でサポート

就職活動は個人戦です。

適正の確認や目標の設定、

なによりも自分の努力次第で結果が変わります。

少人数だからこそ学生一人ひとりを

しっかりと把握し希望する

就職を実現するために

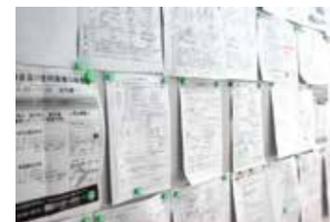
全力でサポートすることができます。

## CAREER PLANNING



### 就職を見据えた教育

各分野にて最先端で活躍するプロを育てるため、現場経験を積んだスタッフが実践的な教育を行っています。また、1年次より業界の基礎知識や働き方を学べるよう、企業訪問やインターンシップ、業界にて活躍している特別講師を招いての講習会の開催などを行っています。



### 就職活動を全力でサポート

キャリアプランニングデスク（就職指導部）と各クラス担任が連携をとり、学生生活から進路指導までをしっかりとサポート。就職活動に関するアドバイスはもちろん、エントリーシートや履歴書などの書類作成支援、模擬面接なども行っています。学生一人ひとりの意思をしっかりと把握し、進路指導を行います。

## SCHEDULE

### 就職支援スケジュール

必要に応じて個別面談を随時実施するなど、一人ひとりに合わせたきめ細かな進路指導による支援を行います。

在学年次	実施内容
4月	就職希望調査 就活トライアル 就職活動講習 業界企業研究 校内企業説明会
5月	産地研修 校内企業説明会
6月	校内企業説明会
7月	就職企業研究
9月	就職面談
12月	就職活動講習
2月	進級判定
3月	履歴書作成講習
卒業年次	実施内容
4月	書類作成講習 面接講習 就職面談 首都圏企業就職試験開始 校内企業説明会
5月	産地研修 校内企業説明会
6月	校内企業説明会
7月	就職活動講習
9月	北陸圏内企業就職試験開始
12月	就職活動講習
2月	卒業判定
3月	卒業



# MESSAGE

## 企業就職担当の声

株式会社ワールドストアパートナーズ  
東海北陸人事リーダー 中川 和也 様  
「とことん、寄り添う。」



私たちは、アパレル販売のプロフェッショナルとして、お客様の個性にぴったりフィットし、一人一人に寄り添うことを叶えていく想いを持ち続ける会社です。洋服を買う時間まで楽しんでいただくこと。私たちワールドストアパートナーズの社員は、お客様それぞれの個性、その時々のお気持ちにとことん「Fit」することをめざしています。その考え方は採用においても同じです。皆さんの個性を見つめ、一人一人に寄りそった採用をしたい。日本全国 2700店舗。100 以上の多様なブランドを扱うワールドグループですから、皆さんの様々な個性が色とりどりの対応を生み出し、私たちの大きな財産になるのです。採用では「とことん、寄りそう」ことのできる“添い遂げる力”をはじめとし、一期一会に心をこめる“おもてなし力”。違いを楽しみ、個性を光らせる“包容力”。気持ちを深く察し、気持ちをひとつ添える“聞いて応える力”。やるからには本気でやる“プロとしてやりきる力”。そして、昨日よりもかっこよく生きようとする“向上心”。この6 つの力を大切にしてくださる方の採用をめざしています。もちろん、いきなり全てができる人はいません。約 14000 名の多くの先輩たちも「ファッションが好き」「人が好き」という気持ちを原動力に、日々自分を高めようとがんばっています。あなたはファッションの仕事に何をのぞむ人ですか?仕事を通して自分という人間も磨き続けたい。楽しい人生を送りたい。そんなあなたにぴったりとフィットする会社です。

株式会社アダストリア  
人事総務部 切替 徹

「なくてはならぬ人となれ、なくてはならぬ企業であれ」



「あなたがいるからここに来たよ」「あなたがいて安心です」と言われる企業・人であり続けたいという想いを込め創業者が創業当時から大事にしてきたこの言葉を、企業理念として定めました。当社は、国内外で 17 ブランド、約 1300 店舗を展開するファッションカジュアル専門店チェーンです。国内だけではなくグローバルに存在感をもち、SPA の仕組みを背景とするマルチブランド戦略を強みに、アパレルだけでなくあらゆるファッションがもたらす“ワクワク”する喜びをお客さまにお届けする「グローバルマルチブランドファッション SPA カンパニー」となることを目指して、さらなる変革と挑戦を続けています。

株式会社ジャパンイマジーネーション  
人事部 人材開発課 採用担当 八文字 沙織

「好きこそ無敵！」



ファッションが好きそれ以上に“人と関わるのが好き”な方を求めています！私たちジャパンイマジーネーションの使命はファッションを生み出すだけではありません。まず服を着る女性に笑顔になっていただくことを考えます。お客様の気持ちをくみとり、小さなことでも感動を与えたい。そして関わり合う全ての人が、より輝いていられるように。これからも CECIL McBEE をはじめとする人気ブランドを全国に展開し、ファッションを愛する仲間とともに様々なプロジェクトを通してたくさんの方々の笑顔を笑顔にするお手伝いをしていきます。ファッションというアイコンを通じて、自分自身も成長し続けたい、自分自身を磨き続けたい!そんな情熱を持った方をお待ちしております。

株式会社オンワード樫山 名古屋支店 採用担当 北里 麻里絵 様

「求められるのは『+αのおもてなし』」

オンワード樫山の社員は、みんなで作成した『おもてなしハンドブック』を携帯しています。全国どのブランドに行っても、オンワード流のおもてなしができて、全てのお客様が満足してお買い物をされることが最大の目標です。モノが溢れ、選択肢が多数ある時代、求められるのは「+αのおもてなし」ではないかと考えます。また、デザイナーからスタイリストまで一気通貫した思いがないと良いモノづくりができないと考えます。それぞれの専門性を磨き、意見を交流させ「お客様の想像を超える創造」を目指しています！金沢は国内外から人が集まる街。そんなワクワクする“ジモト”で最高のおもてなしをする人材、世界に発信するモノづくりができる人材をわたしたちは求めます。

株式会社三陽商会 販売統括事業部 名古屋支店 総務販売人事担当 金岡 知恵 様

「TIMELESS WORK. ほんとうにいいものをつくらう。」

私たちは「いつの時代でも変わらぬ価値のあるものづくり」でお客様に共感・共鳴され、72年間愛されてきました。「良い服」は会社の信念が作ります。しかし、その思いは目に見えるモノではありません。その見えない思いを伝えるのが当社のFA（ファッションアドバイザー）です。「一枚の洋服が幸せを作り、人生を変えることがある！」私はそう思うのです。そしてお客さまから「ありがとう！」と言っていただけることがどれほど素晴らしい出来事なのかを皆さんに知ってほしいと思います。5年後、10年後にまわりからどんな人だと言われたいですか?私は自分の未来を信じる後輩をサポートします！

株式会社カラーマーク 代表取締役 大谷 聡 様

「夢、想像力、チャレンジ、自信」

当社は、創業10年を迎え、「多様な事業要素を複合的に組み合わせ発信する」という新たなビジネススタイルへと変革の歩みを進めています。よほどの強みで無い限り、ひとつの特性だけでは戦いきれなくなってきた昨今のビジネスシーンにおいて、当社はこれらの特性のブレンドにより「スーパーオリジナル企業」の実現に向けた取り組みを行っていきます。実際、営業シーンにおいてファッション、音楽、文化、エンターテインメントの市場はリンクしていて、それはものづくりとコンテンツにも言える状況です。それゆえ、当社としては様々なことや多様な分野に興味を持ち、夢と想像力を持って新しいことにチャレンジしていく若者であって、且つその実現を信じて必死に学び、邁進してくれる人材を求めています。そして、そんな若者にカラーマークの未来をどンドン託していきたいと考えています。

株式会社 白龍 専務取締役 森 浩人 様

「たて糸は人、よこ糸は夢」

石川県は合繊繊維の世界にも類のない一大集散地です。弊社はその中で、婦人服地の強撚薄地織物（ジョーゼット）の生産に特化した機屋です。高度な燃糸、製織技術により織り上がった生地は、国内アパレルはもちろんのこと、世界のトップメゾンからも高い評価を受けています。華やかなイメージのファッション業界ですが、我々の仕事は決してそうではなく、流行の先を見据え、糸、燃糸、織組織を多様に組み合わせることにより、今までに誰も見たことのない、触れたことのない新しい生地作りに日々チャレンジしています。それは、「新しい生地がなければ、新しいファッションは生まれない」という強い自負があるからです。我々が織り上げた生地に、斬新な Color、Print、Design で化粧することにより、着る人に驚きと感動そして夢を与え、その生地作りに携わる社員にもモノ作りの楽しさと夢を与えられる企業を目指しています。

ディーゼルジャパン株式会社 リテール営業部 マネジャー 真部 敬輔 様

「仕事も遊びも全力で」

ファッションが好き!!という方、いろいろなおことにチャレンジしたい方、常識にとらわれず、自由に発想できる方、弊社はそうした人材を常に求めています。そうした人材が集まり、チームとして一体となり、現場から次々と新しいプロジェクトを生み出し、発信していく。そして、常に改革意識を持って、更に新しいことにチャレンジし続けていく。プライベートでも、スポーツや音楽・アートなど、多彩な“カルチャー”に親しみ、感性を養う。仕事にも遊びにも全力でぶつかっていく。「DIESEL」には、そんな仲間が揃っています。

# PICK UP

## 卒業生の就職先紹介 株式会社ミヤモリ

株式会社ミヤモリがどんな企業なのか、宮森会長に伺いました。

**会長**「弊社は1966年に富山県小矢部市創業して今年がちょうど50年という節目の年になります。スポーツウエア―専門の縫製工場として創業いたしました。現在は富山県と鹿児島県に生産拠点を持ち、設計試作から刺繍、プリントなどの二次加工、製品までの一貫生産体制を確立し、スポーツ、カジュアル&スィムウエア、レディースウエア―など多様なアイテムに対応するアパレル生産企業として日々取り組んでおります。」「活躍している5名の卒業生にお話を聞きました。社会人になってから学生時代と変わりましたか?」**氷上**「服づくりの知識が増えた。CADを操作するスピードが上がった、ミシンを踏むスピードが上がった。責任感が強くなった。」**在田**「社会人になり、毎日忙しいので時間が経つのがすごくでき、商品としての新規性を評価いただきました。大手電機、機械メーカーなどからの引き合いも増えてきており将来の事業の柱の一つになるよう育てていきたいと考えております。弊社も50周年の節目を迎え、大きく変わろうとしております。」「継続は力なり」と言いますが、

時代の変化に対応することなしに企業の存続はありません。次の10年を見据えて従来までの縫製加工技術やOEM機能に加え、今後は素材の開発や、自主企画商品の提案、販売など更なるステップアップを目指しております。弊社ではそのための人材を求めています。好きこそもの上手なれと言いますが、ものづくりが好きの方、興味のある方。私たちと一緒にミヤモリを創りませんか。お待ちしております。」「活躍している5名の卒業生にお話を聞きました。社会人になってから学生時代と変わりましたか?」**氷上**「服づくりの知識が増えた。CADを操作するスピードが上がった、ミシンを踏むスピードが上がった。責任感が強くなった。」**在田**「社会人になり、毎日忙しいので時間が経つのがすごく早く感じるようになりました。仕事をするときに限られた時間の中で、いかに効率よく生産するかを意識して仕事に取り組むようになりました。」**中島**「服を作る際、学生時代は基本的なルールに従って作っていましたが、会社に入るとその会社の独自の仕様や仕事の流れがあるので、まだ

株式会社ミヤモリは“一流のブランドに、一流の価値を”をモットーに、長きに渡るノウハウの蓄積による優れた生産力・技術力・洗練された感性による、高い機能性とデザイン性を兼ね備えたスポーツウエアやカジュアルウェアから工業製品までの企画製造を幅広く手掛けるメーカーとして、富山県は小矢部市に拠点を構え、多くの企業から信頼を得ておられます。同社には本校アパレル造形デザイン科の約3～10年前の卒業生5名が在籍しています。会長の宮森氏と卒業生にお話を伺いました。

まだ覚えるばかりですが、一生懸命勉強していきたいと思います。」**金子**「学生時代は、一日のスケジュールが組まれていて科目ごとの授業をします。ただただなんとなく授業を受けていた日も今となっては多かったように感じます。社会人になると当たり前ですが、誰も授業を組んでくれることはありません。自分で目標設定して、日々の目の前の仕事に取り組むようになったと思います。改めて社会人と学生時代と変わったことを振り返ると「考える」ことが多くなったと思います。現在の自分のレベル、目標としている自分のレベル、会社が自分に求めていること、などなどキリがありません。しかし「考える」ことで学生時代の自分よりは、レベルアップしているのではないかな。と思っています。」**田嶋**「責任感が強くなった。知識が増えた（工業用ミシンの扱い、縫製、CAD、裁断のことなど）。精神的に強くなった。よく考えて仕事をするようになった。」

**学生時代に学んだことが今の仕事でどう活かされていますか?」**

**氷上**「締切りの大事さー仕事では納期があるの



います。」**田嶋**「服づくりに関する基本的なこと（パターン、裁断、縫製、ミシンなど）のことを学生時代勉強したので、そのことがミヤモリで現在のCADの仕事においてパターンを引く際にとど活かせています。」**会社のいいところを教えてください!」****氷上**「人間関係が良い。（上司の方々も皆さん優しく接して下さい。同世代も多く、仲良くできる人がいる）」**在田**「従業員同士が良く、困った時にはお互い助け合える環境にあります。仕事中は集中してお互いレベルアップに向けて日々努力しています。」**中島**「とにかくみなさん優しいです。自分がわからないことは、わかりやすく一つ一つ丁寧に教えて下さり、分かるようになるまで教えてください。」**金子**「ミヤモリは年間100万枚を生産する量産が縫製工場です。水着を中心に様々な商品を作っています。優しい人が多く会社の雰囲気も良いです。日々目標に向かい努力しています。難しい商品に挑戦する際は大変ですが、やりがいがあります。」**田嶋**「色々な年代の方がいますが、みんな仲良い。良

くしてくれる。勉強する機会を与えてくれる（研修、出張、検定など）」**これからファッション業界で活躍する後輩たちへメッセージをお願いします。****氷上**「学生時は、課題も多くいっぱいいっぱいになることが多いと思いますが・・・課題をこなした分だけ自分の糧になると思います。病まない程度に頑張ってください!専門時代の2～3年間はあつという間なので思いっきり楽しんでください!」**在田**「現在は量産の工場での勤務なので、生産ラインでミシンを踏んでいることが、ほとんどです。その中で、デザインした方、買っていたお客様の顔を思い浮かべながら、日々仕事に取り組んでいます。是非これからファッション業界で活躍される方にも「誰のため?」「何のため?」と考えながらとまがんびりしましょう。」**中島**「ファッション業界といってもいろんな職種があります。デザイナー、パタンナー、生産工場、商社、販売店などあればキリがありません。どの仕事も「楽しい」と思っていることが大切だと思います。」**金子**「社会に出

るときさまざまな人に出会います。社内の人、取引先の人さまざまな人に出会います。その中で価値観が変わったり、もっと努力しようと思ったります。そうやって成長していくのかな?と現在は思っています。遊びも勉強も思いっきりして、つらいことも楽しみながら乗り越えていける人になってほしいなと思います。お互い明るい未来に向かってがんばりましょう。」**田嶋**「パタンナーを目指してる人へ。「パタンナー」とはパタンのことだけ理解して作っているだけでは駄目です。ミヤモリでパタンナーとしてやっていくためには「縫製」「裁断」「アパレルCAD」「仕様書作成」などなど・・・まだまだやらなければいけないことは沢山あります。色々なことを理解して、パターンを作らなければならないのです。ここまで覚えるのにかなり時間がかかりました。今は担当するブランドさんも変わったので、また、新しいことを覚えていかなければなりません。社会人になっても毎日勉強になることばかりです。色々な経験をして、自分の知識、技術につながると思います。ミヤモリで色々な経験をさせても

で。服に対する気持ち。（完成度の高い服を作る）→今の仕事では、きれいに服を作ればお客様からの評価も上がるので。」**在田**「学生時代に学んだことが今の仕事でどう活かされているのか量産ラインにて仕事しているときも、型紙を見ると完成型までの縫い方がほぼほぼ理解できるので常に完成型をイメージしながら量産の縫製に取り組んでいます。学生の時に勉強したパターンメイキングが役にたっていると感じます。一枚の絵から実際の洋服になるまでの勉強ができることがとても活かされていると感じています。」**中島**「アパレル造形デザイン科で学んでいたの、基本的なパターンの引き方ノッチのいれ方、地の目のいれ方などを理解しながら仕事ができるので良かったと思います。」**金子**「特に「パターン」「縫製」の勉強することができて良かったと思います。基本的な身頃の名前、基本的なミシンの機種などを勉強することにより現在の会社でも、理解しながら仕事ができます。これは、実際に作ってみたいと分らないことも多いので実際にものづくりをしてみても学ぶことが多いと思

らったからこそ・・・大手ブランド”さんのパターン作成した物が全国発売されたこともありました。「自分の手掛けた物が商品になる」のが私の夢でもあったので嬉しかったです。これからはファッション業界を目指している人へ。諦めなければ夢は叶うと思います。頑張ってください!」※写真左から**在田奈央**  
アパレル造形デザイン科3年（現デザイン専攻科）2013年度卒  
富山県立高岡工業高等学校出身  
**水上遥**  
アパレル造形デザイン科3年（現デザイン専攻科）2010年度卒  
石川県立金沢北陵高等学校出身  
**中島嶋衣**  
アパレル造形デザイン科2014年度卒  
富山県立石動高等学校出身  
**田嶋沙織**  
アパレル造形デザイン科2006年度卒  
富山県立となみ野高等学校出身  
**金子翔平**  
アパレル造形デザイン科2008年度卒  
富山県立高岡商業高等学校出身

# STUDY HERE

## 金沢で学べるという価値

石川・富山・福井の北陸3県は一大繊維産地です。特に合成繊維織物生産量は全国シェアの約60%を占めている他、撚糸・製織・製編・染色加工などの各工程において、高い技術力を有する企業が集積している点が特徴の産地です。旧くから続く伝統的な技術でオンリーワンのモノづくりを行っている企業もあれば、世界ナンバーワンの最先端技術でそれを行っている企業もあります。

また本校が立地する金沢は、武家文化が根付いた世界随一の文化都市です。兼六園や長町武家屋敷跡、東茶屋街をはじめとする旧くからの観光名所だけでなく、金沢21世紀美術館や金沢海みらい図書館のようなモダンな建物も市内・外の様々な人たちから愛されています。

2015年3月の北陸新幹線開業もあいまって、より多くのヒト・モノ・コト・情報が行き交う都市へと、今後も発展していくのだと思います。

こうした好環境下で、ファッションクリエーションやファッションビジネスを学ぶことはファッション業界の仕事に就くことを希望する皆さんにとって大変意義深いことだと思います。

実際に本校では産地見学・研修だけに留まらず、産学連携で新商品の企画を行ったり、インターンを実施したりして、学生のモノづくりや産地に対する理解をより深めるための様々な取り組みを行っております。



## アパレルメーカー

年4回の展示会ではオリジナル企画の製品にブリーツ加工や様々なテクニックを詰め込み、県外の百貨店やセレクトショップに提案を行っている。また、地元のテキスタイルメーカーとも共同で生地を開発を行うなど、国内有数の繊維産地の背景を最大限に活かし、他ではマネができない商品開発を行っている。自らの持つ強みとそれを活かせる環境で、新たなモノづくりが生まれるきっかけを創出することで、他がマネできない「株式会社カメダ」のファッションが作り上げられていく。

「株式会社カメダ」(石川県白山市)



## 伝統工芸

友禅染を考案した宮崎友禅斎が加賀へ移り住み、加賀のお国染めであった「梅染め」を取り入れたことで加賀友禅が確立されていったと伝えられている。「京友禅が色鮮やかで金箔を用いるなど雅な趣であるのに対し、加賀友禅は落ち着いた色調の草花模様を中心とした絵画調の柄を特徴としている。加賀友禅は伝統的な技術を継承しながらも時代に合った作品づくりが必要である。」と三代目 毎田 仁嗣氏は語る。

加賀友禅「毎田染芸」(石川県金沢市)



## 縫製

縫製企画からパッケージングまで一貫体制のものづくりを行う縫製工場。「服づくりとは布を使って立体を創造すること。出来上がったものはシルエットが綺麗であり、着心地が良く、着脱が容易なことは勿論だが、デザイナー様のイメージや企画コンセプトと合致していることがとても重要。"服づくりの原点はコミュニケーションにあり"と考え、お客様のご意見を聞くことに全力を注いでいる」と語った。

「SPP 株式会社」(石川県小松市)



## 撚糸

靴下や手袋、ストッキングに使われるカバーリングヤーンを製造している。これからは現場作業の自動化を目指し、自社製品の販売と営業に力を入れていきたい。そのためにも製品のデザインやパッケージのデザインにも力を注ぎ、より魅力的に市場(マーケット)に提案をしていくことが必要になる。

「有限会社 小山カバーリング」(石川県かほく市)



## 細幅織物

ゴム入り細幅織物を生産しており、代表的なものとしてはパジャマやトレーニングウェアのウエスト部分に使われる平ゴムがある。下請けだけでは終わらない自社の技術を判り易い形で提案できるデザインが求められる。作るだけではなくユニークな見せ方にも力を注いでいきたい。

「株式会社 二口製紐」(石川県かほく市)



## 染色加工(ポリエステル)

ポリエステル糸への染色(先染め)と特殊加工を行っている。染色可能な糸種は幅広く対応することを可能にしており、ロットが異なるリピート発注に対しても高い色調再現性を実現し、今までに積み上げた色数は3万色を超えている。「お客様の急な要望にも小回りを利かせ、対応できるのが強み。」

「株式会社 シコー」(石川県白山市)



## 絹織物

城端絹織物の起源は、戦国時代末期の大正時代とされており、江戸時代には富山県の城端市と石川県の小松市で織られた絹織物が「加賀絹」とされ、城端の絹織物業の最盛期には街の至る所から機織りの音が聞こえて来たと言う。現在、富山県で「しけ絹」を製造しているのは唯一「松井機業」のみ。

しけ絹「松井機業」(富山県城端市)



## ニット

国内外のコレクションブランドからも信頼を置かれるニットメーカー。「規模は小さくても、品質への追求はこれからも徹底していきたい。社員の縫製技術の均一化を目指し、弊社の技術を元にデザイナーにデザインの提案ができる社員を育てていきたい。更には自社での商品企画を将来的に行っていきたい。」と語ってくれた。

「株式会社クマモトニット」(石川県能美市)



## ジャカード織り

シャトル織機を使ったジャカード織の絹織物を中心に、ネクタイ、スカーフ、マフラー、ハンカチなどを製造している。生地は負担を掛けずゆっくりと織られるため、仕上がりがふっくらとして、模様も凹凸感のある立体的なものになり、コンピューター制御で合理的に作られる生地にはない温かみのある生地ができる。生産効率を求めた方法では作ることができない風合いの生地を自社では作ることができる。

「株式会社 マイテックス」(石川県能美市)

# MESSAGE FROM SUPPORTERS

## 夢を夢で終わらせないために

講師から受験生の皆さんへメッセージ。  
カナブンでは現場の第一線で活躍するプロが、  
現場に必要な専門知識・技術だけでなく、  
生き方や仕事に対する姿勢などを本気で指導します。



## 学ぶことを通じて 成長する喜びを感じてほしい

### 荒川 美恵子 フリーランスパタンナー

(株) ヤギコーポレーションに入社後、パタンナーとしてキャリアをスタート。同社退社後は東京を拠点に大手有名メーカーと専属契約するなど第一線で活躍するフリーパタンナーに師事する。その後、同パタンナーが立ち上げた(株)キディコーポレーションアパレル事業部P.O.C=現(株)P.O.Cに所属。外注パタンナーメーカーとして多くのブランドのパターンを手がけている。UNITED ARROWS、SHIPS、BEAMS、ローラアッシュレイ、伊勢丹、ユニクロ、フランドル、グランドルグループなど他多数。2007年より本校非常勤講師に就任。2012年より金城短期大学美術学科ファッション工芸コースにおいて講師を務める。

#### PICK UP

外注パタンナーメーカーとして、現在はニューヨークデビューされるメーカーさんの展示会商品に主に取掛かっているところ。写真は某大手通販メーカーの試作品。



これをお読みいただいている皆さんは少なからず「ファッション」に興味・関心ある方だと思います。おしゃれが好き、コーディネートは楽しい…でも、それを仕事としては捉え難い。そんな方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？

ファッション業界の仕事と言えば、デザイナー、パタンナー、プレス、バイヤーなど、一度は聞いたことのある、でも実際はどんな仕事なのか分かりづらい職業をイメージされるかもしれませんが。

私は約20年、パタンナーとして仕事をしております。もともと、高校生の時にパタンナーという職種を知り興味を持ちましたが、ファッションを学び始めてからはデザイナーになりたいと思うようになりました。まだ漠然としていた頃です。社会人となり希望通り企画部に配属されましたが、急速、パタンナーチームへの変更という思いがけない展開となりました。デザイナー、パタンナーどちらにしろ、洋服を作る仕事に関わることなので、とにかく目の前の仕事には真摯に向き合い、一生懸命こなしてきました。そうするうちに、平面から、立体美を生み出すパタンナーの仕事の醍醐味を知り、いつしかパタンナーとしての成長を望むようになりました。そして、恩師や先輩からの力添えをいただき、仕事の幅も増え、たくさんの方々に支えられ、現在に至っております。

大切なのは、自分の将来を想像した時、自分が本当はどうなりたいか、どういう生き方がしたいのかをビジョンとしてしっかり持つこと。それが、目指す仕事、生活そのものであると私は思います。まだ見つからない場合は、まず好きなこと、興味のある世界へ飛び込んでみる。そして、一つ一つ進んで行くこと、目の前の課題をクリアしていくこと、そうしているうちに自分が見えていなかったことも見えてくる、あるいは新しい自分に出会う。そこから、最良の自分を目指して努力を重ねて行くことで、実は生きる喜びを感じることに繋がると思うのです。服が好き、ファッションに興味があるという方、是非、一緒に少しずつ前進しませんか？

また、私は現在、ここ金沢で、主に関東・関西地区のメーカー様の依頼を受け、仕事をしておりますが、ファッションを学んだのもここ北陸の地でした。金沢は、確かに都会に比べると、地方であり、最新で斬新な刺激は少ないかもしれませんが、時代は変わり、今はインターネットで欲しい情報はすぐ手に入り、人とのコミュニケーションもリアルタイムで行えます。また新幹線も開通し、日本のファッションの中心とされる東京はさらに近くなりました。その気になれば、すぐに都会の「刺激」は手に入ります。そして北陸には、昔から伝統工芸をはじめ、織物産業など、一流のものづくりが盛んで、確かな技術と感性、こだわりのものづくり精神がしっかりと根付いています。それは人との繋がりを大切に、四季折々の自然美を身近に感じ、それを生活に活かすという精神が脈々と受け継がれてきた「文化」ならではのものです。これからの時代、この「文化」という空気感を味わいながら生活をし、学び、感性を磨き、そしてその感性と技術を日本中、そして世界へと発信していくスタイルへと変わって行くのではないかと、またそうあるべきと感じています。

金沢の文化の中で、「金沢」「文化」服装学院で、ファッションを学び、いろいろな経験や活動を通して、きっとあなたが新たに目指す道が見えて来ることと思います。



## 「自分」という素材を活かす手法を学ぶ

### 川口 知美

COSTUME80+ / 舞台衣装家

私がファッションの道を選んだのは、技術の取得と、技術者ならばあまり人と関わらずに済むだろうと言う先入観からでした。そうしてファッションを学んだ後、友人の誘いで偶然にも舞台の世界と出会いました。

舞台衣装家は作家やスタッフと共に架空の世界を作り上げる仕事です。衣装を通じあらゆるジャンルの人と出会い、一つの作品を作り上げるために行う対話や共同作業は、様々な美学や価値観を体感する機会となりました。この他者との対話が不可欠な工程であることが功を奏し、私の価値観はゆっくりと更新され、そこで自ら抱えていた弱点は有力な手段となりうることを知ったのです。この道に進む決起となったのが、あるダンス作品との出会いでした。普段着に近い衣装を着た数名の身体が舞台上で躍動し、支え合い、個であるためには他者とのような距離感を心がければいいか。人と人で描かれる絶妙なバランスは、私には他者との関わり方についてのすべての答えが書かれた教科書の様で、この良質なバランスが興ず学びを多くの人に伝えたいと思いました。そして服を学びを伝える手段として考え、保持している技術と知識をさらに活かせる道として選んだのが舞台衣装でした。

ファッションとは、時代との対話を経て未来への提案を行うことであり、服を作る行為は、形と素材が互いに高め合う方法を探し当ててやることなのだと思います。すべての素材にはそれぞれの特性があり、触れたり距離を取ったりして、実験を繰り返して様々な角度でひとつのモノを現象として捉え、あるべき形へと昇華させます。

同じように、人にもそれぞれ特性と美学があります。勿論、それはあなた自身の中にもあるでしょう。

服づくりを熟知することは、自分という素材と向き合い、分析し、どう社会に役立てて行くかを知る手立てとなります。そして、その試行錯誤から自分だけの言葉が生まれ、それは服と言う境界線を越えて、より大きな世界での出会いや活動の場へと拡がります。

ファッションを学ぶことは経済的な循環とその仕組みや手法を学ぶ側面もありますが、そのためにはこの対極にある作り手と受け手の精神の循環やその哲学を知ることが必要不可欠です。

金沢には国内外からも注目を受ける最新鋭の現代美術がいつでも手の届く所にあり、また、伝統工芸・芸能・建築、そして食文化などの伝承があります。新旧の文化がバランス良く住民の生活の一部として存在し、それ自体が観光資源として経済的／精神的循環をもたらしている稀有な土地だと思います。

この文化資源の国内外へのアプローチとレスポンスを生活の中で体感できることは、自らが持つ資源を活かす手法を得る何よりの生きたヒントとなるでしょう。



京都生まれ 石川県金沢育ち。フランス国家認定上級技術者資格取得者。ESMOD PARIS を卒業し、帰国後衣装製作チームにて 6 年間パタンナーとして経験を積んだ後、独立。ダンス、演劇、音楽劇、アートなどの仕事を通じ、多様な価値観や表現と関わりながら、デザイン→型紙→縫製の一連の作業を総括し、スタイリングやリメイクなど様々な手法を用いながら作家と共に作品を高める制作方法を実践する。近年は、衣装ワークショップファシリテーター、金沢文化服装学院、京都造形芸術大学、芸術文化に根ざす地域活性と人材育成事業での講師等、言葉で伝える場にも積極的立つ。



## ファッションの世界に新たな風を巻き起こす人間を作っていきたい

### 五十川 員申

cafe? IKAGAWA DO オーナー / エバンジェリスト

大学、大学院と機械や流体力学を学び、大学院の時には一年間の派遣留学でアメリカの大学へ。日本の大学とアメリカの大学の大きなギャップを感じ、新たなものを生み出すには人や文化のミックスが必要と、大学院卒業と同時に自身のオフィス兼カフェという形で cafe? IKAGAWA DO を開業。自身の仕事の傍ら、地域の問題を IT の力で解決する一般社団法人 Code for Kanazawa を仲間と立ち上げ日々活動をしている。

#### PICK UP

留学中、大学周辺にはたくさんのカフェがあり、そこで多くの学生が相席をしながら勉強し、語り合っていました。地域の人、大学の教授、経営者、、様々な背景を持つ人々がカフェに集い、偶然隣あった自分とは違う価値観の人と気軽に出会い、語らうことができる環境がありました。新しい価値を生み出すには、今までは異なる視点から自分を見てみるという方法の一つです。違う価値観の人と触れ合うことで今まで気が付かなかった価値に気づき、新しい価値を生み出せる。そんな場所は「Café」だ!と思いました。帰国後、「近くにあんなカフェあったらなあ〜」と思い、自分で「五十川堂」をつくりました。今、五十川堂は、学校、学科、地域、仕事、性別の垣根なく多くの人に触れ合える場所になっています。ここから起業した人がいたり、新しいイベントをはじめ人もいます。「五十川堂」は「新たな価値を生み出す場所」としてつくりました。



私は、大学時代に感じた学内の縦割り感や、地域とのつながりの希薄さに問題を感じ、地域、学校、学科の垣根を越えて集えるカフェを経営しながら、企業での ICT 技術 (※1) の導入に関するコンサルティングや大学での起業家創出の授業などを行っています。また、自身でも身近な問題を解決する web サービスを仲間と作っています。

私が活動する IT 業界では、ここ最近多くのファッションに関わる web サービスやアプリケーションがリリースされています。しかし、多くのサービスを覗いてみると、ファンション業界のビジネスにおいて問題点を見つけ挑戦している他業種の方が多いいのも事実です。

金沢文化服装学院はファッションの専門学校のため、プログラムを書いて新たなサービスをつくるというのは難しいかもしれませんが、既存の店舗販売や EC (※2) という販売方法ではない形を創出できる人材が育成できればと思っています。



ここ金沢はいくつもの伝統工芸が残る日本有数の都市です。日本が近代化を進めた時代、日本の伝統工業が衰退した時代においても、よいもの、きれいなものを見極め、お金を出してきた人々がいたということ、金沢にはそういった土壌が根付いています。そのような都市でファッションデザインを学び、ファッションビジネスを発信していくということは、とても幸せなことだと思います。世界に堂々と「金沢です」と言えるのもよいのではないのでしょうか？

私が世界にファッションを新しい形で多くの人にとどけてやる!という方、一緒に新たなビジネスを創り出しましょう。



※1…情報処理及び情報通信 (コンピュータやネットワークに関連する諸分野) における技術・産業・設備・サービスなどの総称。IT と同意語であるが世界のみならず日本でも IT に替わる語として用いられている。  
※2…インターネットやコンピュータなど電子的な手段を介して行われる商取引の総称。Web サイトなどを通じて企業が消費者に商品を販売するオンラインショップのことを EC と呼ぶこともある。



## 感性を磨く心構え

# 水野 雅己

ファッションイラストレーター

1971年 石川県生。1994年 文化服装学院アパレルデザイン科メンズコース卒業後フリーランスファッションイラストレーターとして東京を中心に活動。国内、海外のファッショントレンドマガジン、アパレルブランドなどからの依頼のもと、多数の作品を提供。ファッション専門学校では 文化服装学院他、非常勤講師として活動中。



PICK UP LONDON OLYMPIC 2012スリングウェア、イラストを担当。



皆様がこれからファッションを学ぶということは服を造るだけではなく誰かのライフスタイルを提案する多様性を考え企画にまとめる能力が大切になります。

テーマ(課題)を基にデザインテクニックを習得しながら自分のデザインイメージが作品になった時の喜びは次の作品の向上へ繋がります。私がこれまでデザイン画の指導をしてきて20年になりますが海外からの学生達も含め質問を受ける中で多くは”どうしたら上手くなれますか?”です。その応えは一言では説明できないのですが学生時代にアントニオロペスという世界のトップイラストレーターの作品に感動し自分もこのように描きたいと憧れを抱いたのがきっかけです。それから私自身どのように練習してきたかと言いますと図書館で借りてきた好きなイラストレーターやデザイナーの描く作品集を見て真似て描き続けました。何枚描いたかは分かりませんが納得いくまで、できるまで毎日練習し描きました。この”どうしたら上手くなれますか?”に対して伝えたいのは何枚練習したから上手くなるのではなく、できるまでが練習ということです。そして納得いったデザイン画は先生や友達に見せて様々な感想やアドバイスを受け、また描き、見せる行為を繰り返して来ましたが、見せる行為はとても重要です。誰に見てもらいかも大切ですが、プロや素人それぞれの意見は自分の感性を磨くための客観的材料になるからです。感性を磨く途中、時に人からの意見は製作の妨げになることもありますが、その練習と努力の先には必ず作品に個性と共感性が伴ってきます。その結果、多くの人から”上手い”と言われるわけです。

しかし個性と感性は授業で習う部分ではありません。自身で行動してその反応と結果を体感し次に活かすことの繰り返しが磨くということです。

学校は習う以上にそういった見せるというプレゼンテーションの場、感性を磨く場所でもあります。1クラス20名という理想的な教育環境も丁寧な指導の中で”諦めないこと、続けることの大切さ”を学び学生個々に仲間との信頼関係が生まれ技能上達と共に理想とする新しい自分を見つけることができると言えるでしょう。

また、金沢でファッションを学ぶ学生達は北陸の地場産業と歴史的伝統文化を学びながら独自のアイデンティティーを確立することができます。アイデンティティーを持つという意味はアパレルでも社会人としても本質の大切なこと。自分に足りない所ではなく自分に有るものを意識できること、他人と比較するのではなく、他人の良い部分を学ぶ心を持つことができる人間になることです。

そして人とのコミュニケーションがネットワークに繋がり進路の幅が広がり就職先で信頼される社会人になると考えています。そして金沢文化服装学院では服造りのデザインテクニックとファッションビジネスのカリキュラムのバランスが理想的に組み込まれています。洋服のデザインセンスや技術だけでは世の中に浸透して行きません。その洋服の価値観をどのように世の中に浸透させるかを考えるビジネスセンスまで学べると感じています。

私の授業の特徴は感覚的な部分を客観的にシンプルに分かりやすい言葉での説明から始めています。理由は頭の中のアイデアを相手に伝える(イメージを共感させる)ことがデザイン画の目的でそれを学生の皆に習得させることを役目としているからです。学生皆さんの能力を導きその作品に感動できることは私自身とても嬉しいです。講義で合える日を愉しみにしています。是非、一緒に頑張りましょう!



## たった一度きりの人生を 思い切り楽しんで

# 美谷 竜也

2DWORKS / 代表

1989年生まれ。金沢文化服装学院 アパレル造形デザイン科卒業後、有限会社エフェメール(岐阜)へパタンナーとして入社。小規模の外注パタンナー会社だった為、パタンナーの業務の他に、新規顧客獲得の営業も任せられる。三年目にパタン業務のリーダーを任せられ、利益の最大化や業務のマニュアル化を推進する。四年目に東京事務所の設立に携わり、たった一人で東京事務所(事務所兼自宅)を任せられる。三年間で七名のパタンナーを抱えることが出来るまでに業務を拡大させる。一年の業務引継を経て、独立。現在、約二十ブランドのパターンを担当させてもらっている。

高校ではおしゃれな人が周りにたくさんいた。そんな彼らの真似をしたいと思い、毎日本屋へ立読みをしに行くようになった。徐々に美術館に飾られているかのような不思議な形をした洋服に興味を持つようになっていった、その中で特に惹かれたのはジュンヤ・ワタナベの洋服だった。繊細かつ大胆で美しい洋服で、どうやってつくっているのだろうと思った。彼を知りたいと思い、インターネットや書籍で調べた。彼は文化服装学院を卒業し、パタンナーとしてコム・デ・ギャルソンという会社でキャリアをスタートさせていた。デザイナーとして自身の名前を掲げたブランドを任されていたが、パタンナーになって構造や立体の素養を修得しなければ、彼のような洋服は創れないと思った。

高校三年の夏には、卒業後に専門学校に進学したいと思うようになっていた。専門学校へ入学すると、洋服が大好きな学生しかなかった。毎日がとても刺激的だったし、無意味な日なんて一日も無かった。

課題と自主的な研究に没頭して、毎日をとっても有意義に過ごした。帰りによく21世紀美術館の図書館へ行き、美術書を読み漁ったりもした。自主的に有名なコンクールに出展したり(残念ながら落ちた…)、卒業製作でファッションショーを企画したりと、技術面や精神面、センスも大いに鍛えられたと思う。現役のパタンナーとして活躍されている非常勤講師の方が行う講義があり、パタンナーという仕事の内容を具体的に教えてもらい、少しは身近に感じられるようになった。ただし技術を間近で体感し、自分とのあまりの差に驚愕させられるもした。ただただ衝撃的だった!

卒業後は七年間ずっと同じ会社で、パタンナーとして様々なブランドのパターンを起こしてきた。誰よりも多くのパターンを起こしてきた。いままで一番がむしゃらだったかもしれない!

その後、フリーのパタンナーとして独立した。独立するに当たって不思議な事に不安は一切なかった。専門学校の学院長や講師の方に相談に乗ってもらったり応援してもらったりしていただいたからだと思う。独立した理由は、残された人生の時間を自由に有意義に使えるようにするためには独立しかならなかったから。もちろん、どんな働き方が正しいかなんて無いし、人それぞれ違うと思う。ただし独立は限られた人しか出来ない難しい事と思わないでほしい。いまではパソコンに製図ソフトをインストールさえすれば、インターネットが繋がる環境ならどこでも仕事出来るようになる。お金がそれほどなくても起業出来るのだ!では何が一番重要か?それはどんな出来事も全てプラスに捉え、恐れず、常に行動して人との関わりを持ち、関係性をどれだけ強くしていく事が出来るかだと思う。行動していれば必ず、面白がって近づいてきてくれる人や、協力してくださる人が現れる。自分が生まれてからこれまでに会った人のおかげで、いまの私があると思う。感謝の気持ちでいっぱい!これからは私の技術なり経験なりをもっともっと強固なものにして、いつか私に関わる全ての人に様々なかたちで還元出来ればと思う(模索中…)!





常に現状の外側に踏み出す

## 渡部 大基

H.watanabe fashion Institute / 代表

日本のファッションビジネスは成熟したと言われて久しい今日。ファッションに限らず日本の産業構造そのものが成熟期を迎えています。そうした状況・前提を踏まえて、ファッションを通じて自己実現を図る、或いは成功を収めていくためには何が必要なのか、こういったことを常に考え、学習し現場の一線でも実行をしてきました。重厚長大な企業活動に支えられ、大量生産・大量消費の利便性を享受しながら、いかに個人としての幸せを実現していくか。こういった視点が今後より重要になってくると感じています。法政大学・水野和夫教授の本にもあるように「より速く、より速く、より合理的に」から「よりゆっくり、より近く、より寛容へ」と言うように私たちの共通認識の変化が求められる時代なのかもしれません。更には、一報に偏るのではなくいかにバランスをとっているか、そういった「センス」こそがより大事な視点であると思います。自分も含めた周りの人々、さらには社会がより幸せになる為にファッションと言う一つのプラットフォームを使って思考し、実現させていく。そう言ったことを一緒に考え・学び・社会に大きな付加価値を生み出していく仲間を作っていきたいと思っています。

ハルモニーはそれを実現していく為の一つの装置です。近い将来、日本のファッションビジネスにおいてハルモニーが新しいスタート地点だったと振り返る日が来ることを確信しています。これからカナブンに入学される方はもちろん、ファッションやアートに関心のある人々が集う結節点になっていきます。

※ハルモニーとは…

金沢文化服装学院が運営する文化交流施設。

ファッション産業都市「金沢市」のランドマークの一つとして、ファッション / アートの分野で活躍している人々、また、その分野での活躍を目指す人々の交流の場と機会を創り、新しいアイデアや新しい作品・商品、人材を創出・輩出していく拠点を目指します。



2003年 (株)三越百貨店入社。銀座店バイヤー、銀座店大規模改装プロジェクト等に従事。  
2012年 (株)GUへ転職。商品本部マーチャンダイザーに従事。2017年 ファッションやアートを軸とした新たなコミュニティ創造の場「HARMONIE」の運営に従事。



金沢でしか学べないことは  
世界が求める次世代の「何か」

## 成瀬 美子

フリーランスデザイナー・パタンナー

文化服装学院卒業後、カネボウシルクエレガンス(株)入社。クリスチャン・ディオールの下着のデザイナー、パタンナーとして従事。退社後は舞台衣装などを経験し、2014年に金沢に移住。現在、金沢文化服装学院でファッション史と社会人のためのクリエイションクラス・キャリアカレッジにて講師を務める。

日本人が洋服を着るようになってからまだ100年余りです。何千年も洋服を着てきた西洋に比べて日本の洋服の歴史はとても浅いものです。洋服の文化が日本に入ってきてからあらゆるファッションが海外から輸入されましたが、見たこともないディテールに日本人は目を丸くし、センセーションが起こり、日本人に似合うよう解釈され、一般に楽しまれるようになりました。はじめ受け身だった日本のファッションは徐々に意思を持ちはじめ、やがて日本からも発信されるようになり、そして今や日本のファッションは世界が注目するものとなりました。

何故今日本が注目されるのでしょうか。

目まぐるしく変化し繰り返されてきたファッションはあるときから‘出尽くした’空気が漂い始めました。何をやっても過去のをを超えることが難しくなったのです。長い間ファッションは大きな旋風を起こすことなく静かに平坦な時を過ごしてきました。そんな行きづまりの中、また新しいものが見たい!着たい!という欲求が動き始めたとき、視線は日本に向けられたのです。独特の伝統文化、アニメなどのサブカルチャー、日本の持つポテンシャルに世界は新しい何かを求めているのではないのでしょうか。これからファッション業界、特にクリエイターを目指す方にはチャンス到来と言えるでしょう。今世界は日本から発せられるクリエイションに期待し注目しているのです。

私は四年前に金沢に移住してきたばかりです。加賀百万石の伝統文化や美意識は北陸に住む皆さんにとってはごく身近なものかもしれませんが、初めて触れる者にとっては大きく心を揺さぶられるものがあります。モノづくり文化の根付く土地に育った皆さんをうらやましく思うのです。これはこの先新たにモノやコトを生み出してゆくに大きな強みになるはずです。日本の中でも特に日本らしい土地、金沢でしか学べないことは世界が求める次世代の「何か」なのかもしれません。



# MESSAGE FROM GRADUATES

## 夢を追いかけて

卒業生から

受験生の皆さんへメッセージ。

カナブンで学んだことや思い出、

社会人になって

学んだことなどが盛りだくさん!



**山科 俊貴**  
セレクトショップ koko / 代表

ファッションビジネス科 2005 年度卒  
石川県立寺井高等学校出身

母親がアパレルショップを営んでいたこともあり、幼少期より自分のショップを持つことが僕の夢でした。そのためにもアパレルの専門知識を学びたいと思い、金沢文化服装学院に入学しました。学生時代はファッションやアパレルに関する専門知識・技術はもちろんのこと、同じ志を持った仲間達との2年間はとても有意義な時間だったと思っております。

卒業後は母が経営するショップのバイヤー兼店長として勤めて参りましたが、長年の夢でもあった自分のセレクトショップをオープンしました。こうして、幼い頃からの夢であった自分のショップを持つことができたのは在学中に学んだマーケティングやセールスプロモーション、事業計画書やプレゼンテーションスキルなどを活かすことができたからだと思っております。

現在、金沢文化服装学院にご入学をお考

えの方々に、僕からお伝えできること。

それは「好き」という気持ちを大事に持ち続け、一生懸命夢に向かって進んでいけば、夢は必ず叶う」ということです。そのための知識、経験は必ず在学中に学ぶことができます。是非皆さん一緒に盛り上げていきましょう♪

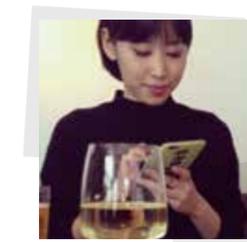


**山岸 蓮**  
株式会社シンゾーン / 販売員

ファッションビジネス科 2013 年度卒  
石川県立金沢商業高等学校出身

シンゾーンという会社を知ったのは当時バイヤーだった岡崎さんが、村上学院長が以前働いていた職場の同期ということで、カナブンに来て下さり、1日講師をして頂いたことがきっかけでした。地元か？東京か？といったように、就職先を迷っていた私に、まさかの出会いでした(笑) 先生や仲間の後押しもあり、東京に出る覚悟を決め、受験させていただき、合格することができました。平成28年4月で入社3年目になります。

在校生や今からカナブン生になる方に言いたいことはカナブンにはまだ見ぬ出会いがあるということです! 同じ思いが集まった仲間や、たくさんの知識を持った先生方、お洋服が好きならば是非金沢文化で学んで欲しいです。今はカナブンで吸収した知識をベースに、「毎日が学び」という意識を常に意識しながら、ファッションの最前線：東京は新宿で働かせて頂いております♪



**山本 永里子**  
株式会社 T-PLANNING / プレス

ファッションビジネス科 2008 年度卒  
石川県立金沢商業高等学校出身

私はカナブンを卒業してから、アパレルとは程遠い職種の仕事をしていた時期もありました。突然、自分が本当にしたいことはこれなのかな? と考えるようになった時、学生時代に気になっていた「プレス」という職種が頭をよぎりました。「プレス」について調べるうちに、どんどんプレス業の魅力にハマっていきました。でも、プレス業は極めて狭き門。面接は10社以上、受けては落ちるの繰り返しでした。いつもの私ならすぐに諦めていましたが、「プレス」になりたいという気持ちが強く、根気よく挑戦し続けていたら、ようやく今の会社で「プレス」として再スタートすることができました。何事も、諦めず続けていれば、できないことはないのだと実感しました。今は雑誌や SNS を使って皆さんの人にブランドを知ってもらえるよう PR をしています。地味な作業が多いですが、担当しているブランドが、雑誌や web ニュースに大きく取り上げられた時の嬉しさがたまりません。皆さんの本当にしたいこと、夢が叶えられますよう、応援しています!



**清水 早綾**  
株式会社 ラリー / 販売員、バイヤー

ファッションビジネス科 2010 年度卒  
石川県立野々市明倫高等学校出身

私は現在、セレクトショップの販売スタッフとして働いています。入学時の目標であったバイヤーとしての仕事もさせていただき、毎日楽しく過ごしています。

学生時代は文化の仲間といることが楽しく、誰かが一歩先へ進めば「私も頑張ろう!」と思える原動力になっていました。それは今でも変わらず、それぞれの場所で頑張っている文化の仲間の姿を見て励まされています。

文化では社会に出て行くために必要な知識や技術を学べるのはもちろんですが、同じ志を持った仲間に出会える貴重な場所だと思えます。沢山学び、そして沢山の楽しい時間を過ごしてください。





## 中村 裕一

保存食専門店 stoock / 店長  
siteki / クリエイティブディレクター

ファッションビジネス科 2005 年度卒  
石川工業高等専門学校出身

コレを読んでいるあなたはきっと「ファッション」もしくは「アパレル」に「興味」があるかと思っています。俤そうに言うのも恥ずかしいので終始一般論になるかと思うのですが、「興味」があるのなら「学ぶ」のがいいのではないのでしょうか？ひたすらこもって独学でもいいし、どこかに所属してもいいし、何か違ったのなら途中でやめればいいです。その都度本気で考えてれば後悔なんかしません。「学び」の語源は「真似び」です。誰かの真似を一定期間、本気でやることで、あなたのオリジナリティは放っといても勝手に出てきます。そして「学ぶ」ということは、自分の世界を拡張することです。「知る」ということは、その入り口です。その入り口で舵を切るのがパーソナルな「興味」ではないのでしょうか？どこに広がりを持ち、どこを引き締め、どこに遊びを入れ、どこで終えるのかは洋服づくりでもファッションビジネスでも自分の生活でも「デザイン」することに変わりはないと思います。



## 飛山 桃子

株式会社ユナイテッドアローズ /  
ウィメンズプレスアシスタント

ファッションビジネス科 2012 年度卒  
富山県立富山北部高等学校出身

私は現在、グリーンレーベル リラクシングのプレスアシスタントとして本社（東京）に勤務しています。それまでは同じブランドの金沢店で、販売員として売り場に立っていました。プレスという仕事は中学生の時の夢で、その夢が実現するきっかけとなったのが社内公募です。入社して2年半の時にプレスの社内公募があり、このチャンスを逃したら絶対に後悔すると思い、迷うことなく応募しました。私はいつも「プレスになりたい」と色んな人に伝えていました。自分の中で留めてしまうのではなく、誰かに伝えることで、ただの夢ではなく「実現したい!」という気持ちが強まり、家族、友人、周りの人達も応援してくれました。その中でも、カナブンで出会った仲間や先生方には特に応援して頂いています。同じアパレル業界で働いている仲間の存在はとても大きく、カナブンの卒業生で良かったなと1番感じるところです。私のようにいつチャンスが訪れるか判りませんが、夢は決して遠い存在ではありません。どんどん口に出して夢に向かって頑張ってください。応援しています!!



## 中谷 ちひろ

flamingo 京都店 / 販売員

ファッションビジネス科 2012 年度卒  
石川県立工業高等学校出身

私は現在、アメリカ古着を扱う古着屋『flamingo』京都店で働かせて頂いております。古着が大好きだった私は、古着屋で働きたいという思いが常にありました。京都での暮らしは私にとって、チャンスの連続でした。様々なファッション団体に snap を撮られましたし、その内の1つから加入の誘いを受け、編集という役割に就きました。また、美容師の方からモデルの依頼を受けることもあり、コンテストやショーに出させて頂いたり、企画側としてイベントを開催したり、逆に呼ばれたり、ファッションショーや物販、snap 撮影…。今振り返ると、本当に様々なことを経験しましたし、貪欲に挑戦をし続けたからこそ、繋がりがグンと増えました。しかし、ここまで辿り着くことができたのは私達にはファッションというツールがあったからだと思っています。私は今もカナブンのことをよく思い出します。楽しかった仲間との思い出は勿論、学んだことは仕事先だけでなくこの地で経験した様々なことに役立ってきました。同時に、持っている損な知識や技術は1つも無いんだと感じました。カナブンはファッションが好きという素晴らしい共通点を持った者達と共に学ぶことができる、とても素敵な場所です。



## 田中 聖菜

セレクトショップ  
「Come rain or come shine」/  
販売職

石川県立金沢商業高等学校出身  
ファッションビジネス科 2010 年度卒業

私は現在、金沢市南町にあります Come rain or come shine というメンズ、レディースの衣服を中心としたコンセプトストアで働いております。正直なところ、服飾の学校に行かなくてもファッションに携わる仕事はできますし、自分次第でどうにでもなります。でも、学校では普段普通に生活しているだけでは学べない知識や、情報、体験、人とのつながりが沢山あります。今は、そのことが意味のあるものだと思えないかもしれませんが、でも、せっかくお金を払って学校に行って、学校に行っていない人と同じレベルでスタートラインに立つのは悔しくないですか？2年間（3年間）を意味のあるものにして欲しいです。卒業してから、もっと真剣に取り組めばよかった、勉強しておけばよかったと思わないように、今からいるんなことに興味を持って取り組んでほしいです。学校の勉強以外にも、いろいろな人と出会って見て選択肢の幅を広げて、自分の好きなことや興味のあることに突き進んで欲しいなと思います。同じ卒業生として応援しています!



## 新濃 利康

株式会社 クレイワークス / パタンナー

アパレル造形デザイン科3年（現デザイン専攻科）  
2008 年度卒  
石川県立金沢中央高等学校出身

在学中とはとにかく誰にも負けたくないという気持ちでいっぱいでした。それは私が優秀な学生ではなく、縫製の上手さ、パターンカ、デザインカ、プレゼンカ、どの能力においても必ず自分より優れた学生が一人以上いたからです。当時とても悔しい思いも沢山しましたが、私にとって自分より優れた彼らは「悔しい」と私に思わせ、向上する努力をするための大切な「仲間」でもありました。彼らと私は共に技術と感性を磨き、同じようにファッションの中で生きることを目指しました。服づくりの技術や感性を学ぶことは目指す所が高ければ高い程、苦しさも伴うことにもなります。しかし、悔しい思いや苦しい思いをしながらも隣を見ればいつも負けたくないと思わせる「仲間」がいて、何も言葉にしないと動まされてきました。卒業した今、学校で得たと感じるものは「仲間」と確かな「技術」です。私は卒業した後、海外で仕事をしてきましたが、やり方も違ってもさながらで仕事をしなければならなかった時、学校で教わった知識と技術があったからこそ、上手く対応し、仕事をこなすことができました。服づくりに関することは細かいことが多く、その一つ一つが美しい服を作るためには重要なことで、アイロンのかけ方から、タオル組みのピン打ちの間隔から角度にまで厳しい指導が入ります。その先生方の厳しい指導があったからこそ今の自分がいると思っています。ファッションで生きて行くには覚悟がいらいます。しかし、専門学校に入学を決めたあなたは既にそのハードルを一つ越えています。既に私のライバルです。私はあなたにも負けたくないと思っています。あなたも是非、私に負けたくないと思ってください。そうあなたが思った時、私にとってあなたは大切な「仲間」の一人になっています。



## 瀬川 愛

株式会社パル チャオパニック  
名古屋店 店長

ファッションビジネス科 2007 年度卒  
金沢高等学校出身

私にとって学生時代に出会った仲間、先生方が今自分にとって1番の糧になっています。ファッションに対して熱い思いがあり、それを共有できる仲間、相談できる先生方、そうした大切な存在に出会えたのが金沢文化服装学院でした。何年経っても変わらずに語れる仲間が居る、それだけでまだまだ突っ走れる、そんな気持ちにさせてくれます。学生時代学んだことで今の私にとって最も活かされていることが2つあります。まず1つ目は「センス」です。学生時代はそれぞれにファッションが大好きな仲間から受ける刺激が大きかったです。それに加え、授業で学んだ色彩や PC を使って作る MAP、その感性は販売員にとって大切なことです。2つ目は「数値管理」です。売場で発生する数値を検証・分析して、それからどうしていくか？『NEXT』を考えていくためには時には感覚ではなく、理論的に実行する力、考える力が大切です。そこから様々な可能性が広がります。授業で学んだ基礎はそうしたことのベースになっています。今、ファッションの最先端にいるあなたへ。服が好き、おしゃれが好きという気持ちがいつまでも大切にしてください。その気持ちがブレずにある限り、何でもチャレンジしていきます。ファッションへの気持ちに、こたわりと楽しさを持ってこれからも一緒に頑張ってください!



## 鳥居 佳奈

株式会社モンスター / パタンナー

アパレル造形デザイン科 2013 年度卒  
石川県立金沢西高等学校  
石川県農業短期大学（現：石川県立大学）出身

私は一度社会人となったのですが、日々の中で「本当にしたいことは何か」と考えた時、服づくりしか考えられませんでした。そんな時に出会えたのが、このカナブんです。年齢は違えども、同じ方向をむいて時間を共有したクラスメイトや先生の存在は、今の私の大きな支えとなっています。そしてこの学校には、全力で背中を押してサポートしてくれる先生たちがたくさんいます。思い返せば、勉強できること、仲間と会えることが嬉しく、学校に行けることが楽しくて仕方なかった日々でした。現在の職場では、まさに店頭と並ぶ商品が目前で作られています。生産現場で長年培われてきた経験と技術、そしてスピード感に日々圧倒され、毎日が勉強ですが、その技術と経験はこれからの自分の最大の武器になると信じています。道のりは長くどんなに大変でも、自分の好きなことが仕事になる喜びは、計り知れません。限られた時間の中で、何を誰とするか。自分が思い描く理想に、自分の望む場所に向かって一緒に踏み出しましょう。



## 野村 和広

ヒット工業株式会社 / 営業企画チーム所属  
worth / デザイナー

アパレルデザイン科（現デザイン専攻科）  
2012 年度卒  
京都産業大学卒業、福井県出身

動いていた会社を辞めてもう一度学生になるという選択は、結婚して家庭を持っていた私にとってとても大きな決断でした。10 代の頃から「ファッションを学びたい」という欲は、大きくなって小ざくざくを繰り返しながら常にあり続け、「後悔したくない! やってみよう!」と一歩踏み出す決心をした時、私は 30 歳でした。期待 10% 不安 90% で始まった私の学生生活は、私が想像していた以上に大変でしたが、想像していた何倍も楽しく実りある日々でした。私は何をしても時間がかかるタイプで、課題との格闘で精いっぱい毎日でしたが、先生方の丁寧な指導や若い同級生達の助までなんとかやりきることができました。初めはキラキラ眩しい 10 代の中におっさんがひとり…いったいどんな日々になるのだろうと想像も難しく不安でしたが、同じ「好き」を持った人間の集まりに年齢は関係ありませんでした。共に頑張った同級生達とは卒業した今でも親交があり、製作を手伝ってくれる心強い仲間もいます! 卒業後、アパレル会社に再就職することができた私の現在の目標はオリジナルブランド worth の製作・販売です。昨年は多くのお客様に商品を見ていただくために、カナブンイベントのサポーターとして運営に参加し、オリジナル商品で出店もしている雑貨 x 作家マーケットへ worth も出店することができました。作った商品に対するお客様の反応を直に見聞きし、一喜一憂の二日間でしたが、今後の活動にもつながる良い出会いもたくさんありました。今後、面白いことができそうな予感がしています!!! カナブン入学当時はオリジナルブランドを立ち上げるなんて遠い夢の話でしたが、今では夢から目標へと変わり、確実に近づいています。遠い遠い夢に、少しずつ近づいて、目標にしてくれたカナブンのかけがえのない 2 年間に本当に感謝しています。



**桶田 絵梨香**  
 ~ vintage&select ~  
 CORPO CIRCUS 代表

ファッションビジネス科 2004 年度卒  
 石川県立工業高等学校出身

私は小さな規模のお店で自分の好きな物をセレクトし、販売するのが夢でした。そんな夢が叶った今、カナブンでの経験で活かされていることは、授業を通して教科書だけでは学べない現場の『リアル』を体感できたことです。私にとって、服の知識を学ぶ以上にファッションビジネスの『生』を感じられたことがとても大きかったと実感しています。心から楽しいと思える仕事ができ、今では笑顔の毎日です♪

人間の感覚の中で最も大きなのは視覚です。視覚は、印象に残った物だけを記憶するようにできているようです。この学校で、とにかく色んな新しいものを物を見て、見て、見続け、記憶を増やし、感覚を鍛えていって欲しいと思います。

正解も不正解もない“ファッション”という分野ですが、人生を豊にするツールの一つだということは確実に言えると思います。服を作る側も売る側も“服”という単なる物質を売っているのではなく、その裏側にあるものを提供できることにファッション業界の楽しさはあるのではないのでしょうか？



**CORPO CIRCUS**  
 19 世紀のアイテムから現代のデザイン重視のレギュラー古着まで幅広いラインナップを取り揃えるショップ。シンプルにファッションを楽しむ事を意識しております。  
 石川県金沢市里見町 35 中川ビル 1-3  
 TEL. 076-255-2091  
 営業時間 / 12:00 ~ 20:00 定休日 / 水曜日



**西村 幸子**  
 フリーランスデザイナー

デザイン専攻科 2014 年度卒業 /  
 石川県立金沢辰巳丘高等学校出身

専攻科進学の際に、2年間服づくりを学んできて自分の将来の夢を実現するためには何が必要か・・・と考えた時に「自分のブランドや作品を表現・発信する」ツールをもっと身につければいけないと感じました。そこでビジネス専攻科ではホームページ作りや冊子作成などのグラフィックデザインの勉強をしたり販売から経営までの勉強を現場での研修を交えながら教わったり、と卒業後に即使えるようなカリキュラムをこなしました。課外イベントにも参加しました。東京ビックサイトにて行われた「デザインフェスタ」に2度参加し、授業内で作成した動画や冊子も置いたり、イベントで知り合った外部の方ともコラボしてたくさんの方に知ってもらえるいい機会になりましたし満足のいくものとなりました。

卒業製作では自分のブランドでもある“ねむねむ”のショーを構成から動画作成、16 スタイルの衣装作成まで全て一人で作り上げました。納得いくものになったおかげでお客様からもいい評価をいただきました。

卒業後は“ねむねむ”を更に広めていく事と同時に、色んな方からの依頼を受け製作しています。人と人のつながりを大事にしながらこれからもがんばっていきます。

学生時からのオリジナルブランド「ねむねむ」の製作を始め、舞台衣装やショップとのコラボ商品の製作などを行う傍、非常勤講師として学校にてクリエーション授業などの指導をするなど、フリーランスとして多岐にわたる活動をしている。



**尾山 洋平**  
 KINFOLK  
 / マーケティング、フォトグラファー、デザイナー  
 ファッションビジネス科 2004 年度卒  
 石川県立津幡高等学校出身

「好きなことで生きていこう！」今でも変わらないキーワードでもあるシンプルな動機からファッションの道を選びカナブんに入学しました。自分がこれまで出会ったことがない様なファッションスタイルの人が多く、今まで生きてきた世界と違う、別世界の入り口が開かれた、衝撃的な仲間との出会いは今でも忘れはしません。授業では専門的なことから現場で使う実践的なことまで、沢山の基礎を学ぶことができ、そのことが今の仕事でもベースとして役に立っていますし、何より、大好きなファッション漬けの毎日だったので本当に幸せな学校生活でした。

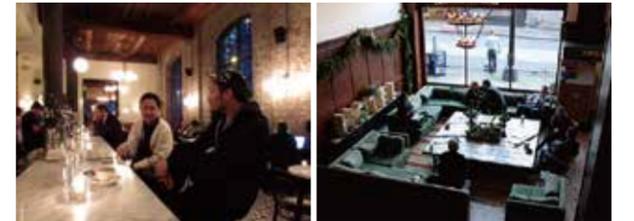
アパレル1つとっても、デザインから製作、販売まで様々な人々のストーリーが1つのプロダクツに集約されています。そして手に渡った後も、またストーリーが続く魅力的な分野の職業だと思っていますし、その様なストーリーに携われることが、アパレルの仕事する上で醍醐味だとも感じます。

卒業後は独立するための準備期間として企業に就職し、自分で決めた目標達成後に仕事を辞め、リアルな現場を経験するため単身渡米しました。NYでマーケティングとスタイリストのインターンも受け、帰国後はパラレルキャリアを生かし、フリーで仕事をしています。今でも年の1ヶ月程は海外に出向き、リアルな現場を直接肌で感じに行きます。第一線で活躍されてる方との会話はいつもクリエイティビティが高く、フレキシブルで、自分の仕事に大きく影響し、役立てています。

僕が在学していた頃の10年前と時代はもの凄く変動し、どんな人でもチャンスものにしやすい時代になりました。好きなことや得意なこと、やってることも、直ぐに地球の裏側まで届く、ひと昔前まではありえなかったことがありえる最高な時代を僕達は今、生きています。

在学中でも、学校っていう名のフィールドを使い、自分達の想いや、今やってることなどをガンガン世界に向けて発信したらどうでしょうか？学生でしかできないこともたくさんあります。全ては行動からです。とにかくやってみる、始めてみること。

在学中の方、そしてこれたら入学される方に一言、「夢は必ず叶います」。それは夢を計画にすること、やり続けること。そして自分を信じることです。



KINFOLK

2011 年アメリカ オレゴン州ポートランドで創刊されたライフスタイル誌。編集長の「ネイサン・ウィリアム」が、25 歳のときに友人たち数名とはじめた雑誌。「KINFOLK」の意味は、家族や親しい者を意味する“KINSFOLK”という古めかしい言葉から S をとったもので、雑誌には家族や友人、隣人といった小さな集まりという意味の「スモールギャザリング」をサブタイトルに掲げている。食や暮らしにまつわる美しい情景を切りとった写真やイラスト、テキストのレイアウトでつづられるインディペンデントマガジン。  
 写真家、作家、イラストレーター、デザイナーらがチームを組み、食、小さな旅、フラワーコーディネーター、コーヒーなどをめぐる生活の風景を美しい写真でつづる雑誌。年 4 回発行され、第 8 号では日本特集が組まれました。日本では出版社「ネコ・パブリッシング」より、オリジナルに忠実な日本版キンフォーク『KINFOLK MAGAZINE JAPAN』が創刊され、話題となっています。



## TRUE PRIDE

### あなたらしく生きるためのプライド

「大好き」を学ぶことに決めた

あとは自分が努力するだけでいい

誰も自分にはなれないし、自分は誰にも似ていない

自分は自分

だから自分に責任を持つ

「どんな自分になりたいのか」

「いつ動き出すのか」

と自分自身に聞いてみた

答えは明白

「今やらなくては未来の自分が見えてこない」と

人生は自分で描くもの

だから自分にプライドが持てる未来、

一生懸命ガンバル覚悟ができる

あなたが、あなたらしく生きるためのプライド

それは、好きな世界へ跳ぶための翼です

金沢文化服装学院は一生懸命ガンバル

覚悟のできたファッションイスタを待っています



model : Fumika Kitani  
costume : Hitomi Wadaira  
hair : Hideki Murakami  
stylist : Hitomi Wadaira



## FLOWERS IN WONDER

### カナブン紹介動画

創立60周年を記念して制作した、学校のイメージ動画です。  
クリエイティブをしていく中で大切にしたいキラキラした想いや  
ひらめきを表現しています。

衣装は卒業生の和平瞳さんが在籍時に  
卒業作品として制作した色違い2着を用い、  
モデルを木谷文香さんが勤めています。  
動画はYOUTUBEでご覧いただけます

### 作品タイトル「お花ピンタックワンピース」

今回のテーマは「四季を彩る花」。お花モチーフの生地を探し求めて生地屋さんを巡り、出会った  
花柄の2色の生地。どちらも素敵で選べず、これは双子スタイルを作るしかない!!と思いました  
(笑)。柄が華やかなので、カジュアルなリアルクローズに落とし込むには、とシャツワンピースにす  
ることにしました。ただのシャツワンピースでは面白くないと思い、ヨークと袖の部分にピンタックの  
ディテールを取り入れてアクセントにしました。わたしは2年生のある時期から、プリーツやピンタッ  
ク、ティアードなどの連続したものに惹かれるようになり、デザインの中に必ずと言っていいほど取  
り入れています。

和平 瞳 Hitomi Wadaira 富山県立入善高等学校出身 アパレル造形デザイン科3年(現デザイン専攻科)2015年度卒

## ACCESS MAP

### アクセスガイド

1. 金沢駅東口バスターミナル⑦⑧⑨いずれかに乗車10分。  
片町下車。徒歩3分。
2. 北陸鉄道石川総線終点野町駅より徒歩7分。

